

大分大学大学院医学系研究科博士課程  
Oita University Graduate School of Medicine Doctoral Program

# 学 生 募 集 要 項

## Application Guide

- 秋季入学（平成28年10月入学）  
○Fall Admissions(October 2016)
- 平成29年4月入学  
○Spring Admissions(April 2017)

平成28年5月  
May 2016

# 目 次

## CONTENTS

	ページ	page
○大分大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー	1	(32)
* Oita University Graduate School of Medicine – Admission Policy		
○大分大学大学院医学系研究科博士課程ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	2	(33)
* Oita University Graduate School of Medicine Diploma Policy in the Faculty of Medicine		
＜秋季入学＞ 平成28年10月入学 Fall Admissions October 2016		
【学生募集要項】 【Student Entrance Requirements】		
1. 入 試 日 程 Admission Schedule	5	(35)
2. 募 集 人 員 Students Admitted	5	(35)
3. 出 願 資 格 Application Requirements	5	(35)
4. 出 願 資 格 認 定 Application Requirements Documentation	6	(36)
5. 出 願 手 続 Application Procedures	7	(37)
6. 受 験 票 の 交 付 Issue of Examination Slips	8	(39)
7. 入 学 者 選 抜 方 法 Selection Process of Successful Applicants	9	(39)
8. 合 格 者 発 表 Announcement of Result	9	(39)
9. 入 学 手 続 Enrollment Procedures	9	(39)
10. 入 学 料 及 び 授 業 料 Enrollment Fees and Tuition Fees	9	(40)
11. 問 合 せ 先 University Contact Information	10	(40)
＜春季入学＞ 平成29年4月入学 Spring Admissions April 2017		
【学生募集要項】 【Student Entrance Requirements】		
1. 入 試 日 程 Admission Schedule	13	(43)
2. 募 集 人 員 Students Admitted	13	(43)
3. 出 願 資 格 Application Requirements	13	(43)
4. 出 願 資 格 認 定 Application Requirements Documentation	14	(44)
5. 出 願 手 続 Application Procedures	15	(45)
6. 受 験 票 の 交 付 Issue of Examination Slips	17	(47)
7. 入 学 者 選 抜 方 法 Selection Process of Successful Applicants	17	(47)
8. 合 格 者 発 表 Announcement of Results	17	(48)
9. 入 学 手 続 Enrollment Procedures	17	(48)
10. 入 学 料 及 び 授 業 料 Enrollment Fees and Tuition Fees	18	(48)
11. 問 合 せ 先 University Contact Information	18	(48)
＜共通事項＞ General Information on Application		
【入学案内】 【Admission Information】		
1. 目 的 Goal of Education	21	(51)
2. 構成及び修業年限 Framework and Term of Study	21	(51)
3. 特 色 Features	21	(51)
4. 授業科目と担当教員一覧 Courses and Faculty Members	22	(52)
5. 履 修 方 法 Course Registration	27	(59)
6. 学 位 の 授 与 Degree Conferral	28	(59)
7. 奨 学 金 制 度 Scholarships	28	(59)
8. 大分大学入学料・授業料奨学融資制度	28	(59)
Oita University Admission Department/School Loan Information		
9. 学生教育研究災害傷害保険 Student Research Accident Insurance	28	(59)
10. 長期履修制度について Information on Extension of Study Term	28	(59)
11. 指導教員（教授等）の連絡先一覧	29	(61)
Contact Information of Faculty Members including Professors		
○大分大学位置図 Location Map of Oita University	31	(63)

## 社会人への特例措置

近年、大学院における社会人の再教育への要望が高まっていますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されることとなります。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人の就学に特別措置を行うことが配慮されています。

このことを踏まえ、本学大学院医学系研究科博士課程では、医学並びに医療関連分野で活躍している社会人に対し、高度の医学研究能力を身につける機会を与えるため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用して、平成13年度から昼夜開講制による授業等を実施しています。

## Special Measures for Working Adults Admissions

Recently, an increasing number of working adults wish to study at graduate School. In the past it was necessary for Working Adult students to quit their jobs due to restricted class schedules.

Article 14 of the Standards for the Establishment of Graduate School Law states, in the need for special consideration to study at Graduate School, night courses and classes will be available outside regular times. Universities are considering making these courses available.

In accordance with Article 14, Oita University Graduate School of Medicine has been offering adults working in medicine or medical fields the opportunity to study and research at a high level since 2001.

# 大分大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー

## 基本理念

複雑化・高度化する医学・医療の分野で、常に最新の学術を教授・研究し、高度の医学及び看護学の知識と技術並びにそれらの本義を見失わない倫理観と、それを支える豊かな教養を身につけた教育・研究者及び医療人を養成し、もって医学及び看護学の進歩、国民の健康の維持増進、更に医療・保健を中心に地域及び国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

## 教育の目標

### 修士課程

(略)

### 博士課程

国際的に活躍できる自立した教育・研究者及び診療能力の高い臨床医の育成を主眼とし、そのための能力と基礎となる豊かな学識及び人間性を持った人材の養成を目指します。

## 求める学生像

### 修士課程

(略)

### 博士課程

- 1 医学の分野において、国際的な舞台で活躍することを志す人
- 2 専門分野における高度な知識を吸収し、その整理・明確化を行い、問題点の発掘を行い、その本質を基礎医学、臨床医学、社会医学等の枠にとらわれない総合的・科学的観点から探求し、自らが設定した課題について研究を志す人
- 3 自らの研究成果について、国際的に評価の定まっている学術誌に公表し、積極的に評価を受けることを志す人
- 4 医学の進歩に貢献し、人類の健康について、維持・増進への取り組みを志す人
- 5 国民のがんに対する関心・意識の高まりに伴い、高度な教育・研究・診療能力を兼ね備えたがんプロフェッショナルを志す人

## 入学者選抜方針

### 修士課程

(略)

### 博士課程

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、高度な専門的知識、技術及び能力を求めます。また、これらを支える高い道德観と豊かな人間性を備え、国際的・学際的に活躍できる資質を求めます。

## 大分大学大学院医学系研究科博士課程 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

### 【医学専攻】

大分大学大学院医学系研究科の博士課程を修了し、研究者として自立して活動しつつ高度な専門業務に従事するために必要な能力とその基盤となる学識を身につけ、以下の基準に該当する者に博士（医学）を授与する。

1. 基礎・臨床医学，及び生命科学における深い学識と高度な情報収集能力・分析能力および研究技術を備えている。
2. 自らの研究歴あるいは臨床経験に基づいて，その学識・能力・技術を基盤に，自ら課題を見出し，それを解決・展開できる。
3. 自らの研究成果を客観的に分析し，目的と背景・研究方法・結果・考察，さらに今後の発展の可能性について発表し討議することができると共に，その成果を欧文論文として発表する総合的な情報発信能力を有する。
4. 科学的基盤に基づいて先端医療を理解または実践することができる。
5. 実験室や調査フィールドあるいは臨床の場における実践的な経験に基づいた，医学者としての研究者倫理を有している。
6. 医学研究を通して人類の繁栄と福祉に貢献することができる。



秋季入学（平成28年10月入学）

# 学 生 募 集 要 項

## 1. 入試日程

区 分	日 程
出 願 期 間	平成28年 7月11日（月）～平成28年 7月15日（金）
試 験 日	平成28年 7月26日（火）
合格者発表	平成28年 8月 9日（火）

## 2. 募集人員 医学専攻 若干名

[募集人員は、昼夜開講制による社会人を含みます。]

専 攻	領 域	募 集 人 員
医学専攻	基礎研究領域	若干名
	臨床研究領域	
	がん研究領域	

(備考)

1. 入学志願者は、志望する領域に順位をつけて、第2志望まで出願することができます。
2. 社会人とは、官公庁、病院、企業等において医師又は研究者として勤務し、入学後も職を有する者をいいます。

※社会人が、大学院教育を受けやすくするために、本研究科では大学院設置基準第14条の教育方法の特例（昼夜開講制）を適用します。教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談の上、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。（表紙裏面の「社会人への特例措置」参照）

## 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者（平成28年 9月末までに）出願資格に該当する見込みの者も可）

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 大学の医学、歯学又は修学年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者、外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの



(6) 文部科学大臣の指定した者

- ①旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ②防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
- ④前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で、大学院又は専攻科において、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの
- ⑤大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの

(7) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものの

#### 4. 出願資格認定

前記「3. 出願資格」の(5)、(6)の④、⑤、(7)のいずれかにより出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

(1) 提出書類

①出願資格(5)により出願しようとする場合

提出書類	摘要
① 出願資格認定申請書	本学所定の用紙を使用してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
② 成績証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
③ 在学証明書（在学年次が明記されているもの）	※改姓により、現在の氏名と証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
④ 研究計画書	本学所定の用紙を使用してください。

②出願資格(6)の④、⑤、(7)により出願しようとする場合

提出書類	摘要
① 出願資格認定申請書	本学所定の用紙を使用してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
② 成績証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ※改姓により、現在の氏名と証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
③ 研究計画書	本学所定の用紙を使用してください。
④ 業績一覧	同上（主な業績のコピーを各1部添付してください。ただし、提出する業績は3篇までとします。）

- (2) 提出期間 平成28年6月20日（月）～6月24日（金）17時まで（必着）
- (3) 提出先 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）
- (4) 郵送の場合 「速達簡易書留」郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書在中」と朱書きし郵送してください。
- (5) 認定の結果 出願資格審査の結果は、提出書類に基づき審査し、平成28年7月6日（水）までに本人に通知します。

## 5. 出願手続

(1) 出願期間 平成28年7月11日(月)～7月15日(金)17時まで(必着)

(2) 出願方法

①第2志望の領域まで出願することができます。

②出願を希望する者は、あらかじめ志望(第1志望)する修学指導教員(P.22～27及びP.29～30)と研究内容等について相談の上、出願してください。

③出願書類等は、本学所定の封筒を使用し、持参又は郵送により提出してください。

④願書受付場所 大分大学学生支援部入試課(旦野原キャンパス)


⑤受付時間 9時から17時まで

⑥郵送の場合 「速達簡易書留」郵便で下記あてに上記出願期間最終日の17時まで必着にて郵送してください。

(あて先) 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

(3) 出願書類等(提出された書類は返還しません。)

出願書類等	摘 要
①入 学 志 願 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。入学志願書下欄の「記入上の注意」をよく読んで記入してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
②写 真 票 ・ 受 験 票	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。 上半身・脱帽・正面向きで本人であると確認できる写真(縦4cm×横3cm)をそれぞれの所定欄に貼ってください。
③入 学 検 定 料 振 替 払 込 受 付 証 明 書 等 (30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください(ATM不可)。 お支払い後は、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合 下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は、「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンからの本学ホームページ(<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>) メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から申し込んでください。</li> <li>・携帯電話からの申込みURL(<a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a>) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</li> </ul> <p>※手数料は本人負担です。 ※納入した検定料は返還できません。 ※国費外国人留学生並びに平成28年9月に本研究科及び本学の他研究科修士課程(博士前期課程を含む。)を修了見込みの者で、引き続き本課程に進学する者は、納付する必要はありません。</p> 
④成 績 証 明 書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)

⑤ 卒業（見込）証明書 又は修了（見込）証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
⑥ 受験承諾書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。現に大学院に在学中の者又は官公庁その他民間会社等に在職中の者は、当該研究科長又は勤務先の所属長（病院所属であれば病院長）の受験承諾書を提出してください。
⑦ 受験及び就学承諾書 (有職者で昼夜開講制による志願者のみ)	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。官公庁その他民間会社等に在職中で、入学後も在職のまま就学する者は、上記⑥に代えて、受験及び就学承諾書を提出してください。
⑧ 住民票の写し (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人は、市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑨ 出願資格認定通知書(写)	本学は出願資格審査を受け、出願資格ありと認定されたのちに出願する者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑩ 住所シール	本要項に添付している本学所定の住所シールに志願者の氏名・住所(合格通知等を受け取る場所)・郵便番号を必ず記入してください。
⑪ 受験票等送付用封筒	本要項に添付している本学所定の長形3号封筒に志願者の氏名・住所・郵便番号を記入し、郵便切手(362円分)を貼ってください。

#### (4) 出願上の注意事項

- ①入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ②改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
- ③各提出書類に入学区分(秋季入学(平成28年10月入学)及び春季入学(平成29年4月入学))を選択する項目があります。選択間違いのないように気を付けてください。
- ④一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤出願期間後に到着したものと及び出願書類等の不備なものは受付できません。
- ⑥出願書類等は一括してとりそろえ、出願者が直接出願してください。
- ⑦出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑧障がいのある者等の事前相談について  
障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の事項を記載した相談申請書(様式任意)に医師の診断書を添えて、平成28年6月24日(金)までに本学学生支援部入試課に提出してください。  

・障がいの種類・程度	・受験の際に特別な配慮を希望する事項
・修学の際に特別な配慮を希望する事項	・日常生活の状況及びその他参考となる事項
- ⑨入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学金・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。

## 6. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の9時から9時30分までに受付へ申し出てください。

## 7. 入学者選抜方法

(1) 入学者選抜は、筆記試験の成績、口頭試問の結果及び成績証明書の内容を総合して行います。

学力検査等の科目及び日時等

期 日	試験科目等	時 間	備 考
平成28年7月26日（火）	英 語 (筆記試験)	10:00~12:00	語学の辞書（電子辞書及び医学英語辞書類を除く。）の持込みを許可します。
	口頭試問 (志望する領域を中心に行います。)	13:00~	

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

## (2) 試験会場

大分大学医学部 はさま 挾間キャンパス  
所在地 由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地（P. 31大分大学位置図参照）  
交通アクセス ◎バス利用（大分バス）

大分バス本社前〔トキハデパート前2番のりば〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前4番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用（約40分）、「大学病院」下車（詳細は時刻表で確認してください。）

## 8. 合格者発表

平成28年8月9日（火）10時

大分大学旦野原キャンパス教養教育棟前及び挾間キャンパス管理棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には郵送により通知します。

また、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の問い合わせには一切お応えしません。

## 9. 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続のご案内」によりお知らせします。

なお、入学手続日に入学手続をしなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

## 10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料（年額） 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1 入学料については徴収猶予の制度が、授業料については免除・徴収猶予の制度があります。詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

注2 入学料については、平成28年9月に本研究科及び本学の他研究科修士課程（博士前期課程を含む。）を修了し、引き続き本課程に進学する者は、納付する必要はありません。

注3 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて1年分の納付もすることができます。

注4 国費外国人留学生については、入学料・授業料を納付する必要はありません。

注5 入学料及び授業料は改定の可能性があります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注6 既納の入学料は返還できません。

## 11. 問合せ先

大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL 097-554-6701



平成29年4月入学

# 学 生 募 集 要 項

## 1. 入試日程

区 分	第1次募集	第2次募集 ※	第3次募集 ※
出願期間	平成28年7月11日（月） ～平成28年7月15日（金）	平成29年1月4日（水） ～平成29年1月6日（金）	平成29年2月13日（月） ～平成29年2月17日（金）
試 験 日	平成28年7月26日（火）	平成29年1月24日（火）	平成29年3月7日（火）
合格者発表	平成28年8月9日（火）	平成29年2月8日（水）	平成29年3月20日（月）

※募集人員に達した場合は、以後の募集は行いません。

※第2次募集、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

## 2. 募集人員 医学専攻 30名

[募集人員は、昼夜開講制による社会人を含みます。]

専 攻	領 域	募 集 人 員
医学専攻	基礎研究領域	30名
	臨床研究領域	
	がん研究領域	

(備考)

1. 入学志願者は、志望する領域に順位をつけて、第2志望まで出願することができます。
2. 社会人とは、官公庁、病院、企業等において医師又は研究者として勤務し、入学後も職を有する者をいいます。

※社会人が、大学院教育を受けやすくするために、本研究科では大学院設置基準第14条の教育方法の特例（昼夜開講制）を適用します。教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談の上、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。（表紙裏面の「社会人への特例措置」参照）

## 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者（平成29年3月末までに）出願資格に該当する見込みの者も可）

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者、外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を



修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

(6) 文部科学大臣の指定した者

①旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

②防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者

③修士課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者

④前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者(学位規則の一部を改正する省令(昭和49年文部省令第29号)による改正前の学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1号に該当する者を含む。)で、大学院又は専攻科において、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

⑤大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

(7) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したものの

#### 4. 出願資格認定

前記「3. 出願資格」の(5)、(6)の④、⑤、(7)のいずれかにより出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

(1) 提出書類

①出願資格(5)により出願しようとする場合

提出書類	摘要
① 出願資格認定申請書	本学所定の用紙を使用してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
② 成績証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
③ 在学証明書(在学年次が明記されているもの)	※改姓により、現在の氏名と証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
④ 研究計画書	本学所定の用紙を使用してください。

②出願資格(6)の④、⑤、(7)により出願しようとする場合

提出書類	摘要
① 出願資格認定申請書	本学所定の用紙を使用してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
② 成績証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ※改姓により、現在の氏名と証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
③ 研究計画書	本学所定の用紙を使用してください。
④ 業績一覧	同上(主な業績のコピーを各1部添付してください。ただし、提出する業績は3篇までとします。)

- (2) 提出期間
- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 第1次募集 | 平成28年6月20日(月)～6月24日(金)17時まで(必着)   |
| 第2次募集 | 平成28年11月21日(月)～11月25日(金)17時まで(必着) |
| 第3次募集 | 平成29年1月16日(月)～1月20日(金)17時まで(必着)   |

- (3) 提出先 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）
- (4) 郵送の場合 「速達簡易書留」郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書在中」と朱書きし郵送してください。
- (5) 認定の結果 出願資格審査の結果は、提出書類に基づき審査し、下記期日までに本人に通知します。
- 第1次募集 平成28年7月6日（水）
- 第2次募集 平成28年12月12日（月）
- 第3次募集 平成29年2月8日（水）

## 5. 出願手続


- (1) 出願期間 第1次募集 平成28年7月11日（月）～7月15日（金）17時まで（必着）  
第2次募集 平成29年1月4日（水）～1月6日（金）17時まで（必着）  
第3次募集 平成29年2月13日（月）～2月17日（金）17時まで（必着）
- (2) 出願方法
- ①第2志望の領域まで出願することができます。
- ②出願を希望する者は、あらかじめ志望（第1志望）する修学指導教員（P.22～27及びP.29～30）と研究内容等について相談の上、出願してください。
- ③出願書類等は、本学所定の封筒を使用し、持参又は郵送により提出してください。
- ④願書受付場所 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）
- ⑤受付時間 9時から17時まで
- ⑥郵送の場合 「速達簡易書留」郵便で下記あてに上記出願期間最終日の17時まで必着にて郵送してください。

（あて先）〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

- (3) 出願書類等（提出された書類は返還しません。）

出願書類等	摘 要
①入 学 志 願 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。入学志願書下欄の「記入上の注意」をよく読んで記入してください。外国籍を有する者は「外国人志願者用」に記入してください。
②受 験 票 ・ 写 真 票	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。上半身・脱帽・正面向きで本人であると確認できる写真（縦4cm×横3cm）をそれぞれの所定欄に貼ってください。
③入 学 検 定 料 振 替 払 込 受 付 証 明 書 等 (30,000円)	①②のいずれかの方法でお支払いください。  ①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください（ATM不可）。 お支払い後は、「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。  ②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合 下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は、「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ・パソコンからの本学ホームページ（ <a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a> ） メニュー → 入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納 から 申し込んでください。 ・携帯電話からの申込みURL（ <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a> ）

	<p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。          ※手数料は本人負担です。          ※納入した検定料は返還できません。          ※国費外国人留学生並びに平成29年3月に本研究科及び本学の他研究科修士課程（博士前期課程を含む。）を修了見込みの者で、引き続き本課程に進学する者は、納付する必要はありません。</p> 
④ 成績証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。（ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。）
⑤ 卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書	出身学校の長が証明したもの。日本語及び英語以外の証明書は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
⑥ 受験承諾書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。現に大学院に在学中の者又は官公庁その他民間会社等に在職中の者は、当該研究科長又は勤務先の所属長（病院所属であれば病院長）の受験承諾書を提出してください。
⑦ 受験及び就学承諾書（有職者で昼夜開講制による志願者のみ）	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。官公庁その他民間会社等に在職中で、入学後も在職のまま就学する者は、上記⑥に代えて、受験及び就学承諾書を提出してください。
⑧ 住民票の写し（外国人志願者のみ）	日本に在住する外国人は、市・区・町・村長の発行した「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。なお、入学志願書等には、この住民票の写しに記載された氏名を記入してください。
⑨ 出願資格認定通知書(写)	本学の出願資格審査を受け、出願資格ありと認定されたのち出願する者は、出願資格認定通知書のコピーを提出してください。
⑩ 住所シール	本要項に添付している本学所定の住所シールに志願者の氏名・住所（合格通知等を受け取る場所）・郵便番号を必ず記入してください。
⑪ 受験票等送付用封筒	本要項に添付している本学所定の長形3号封筒に志願者の氏名・住所・郵便番号を記入し、郵便切手（362円分）を貼ってください。

#### (4) 出願上の注意事項

- ①入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- ②改姓により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。
- ③各提出書類に入学区分（秋季入学（平成28年10月入学）及び春季入学（平成29年4月入学））を選択する項目があります。選択間違いのないように気を付けてください。
- ④一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤出願期間後に到着したもの及び出願書類等の不備なものは受付できません。
- ⑥出願書類等は一括してとりそろえ、出願者が直接出願してください。
- ⑦出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑧障がいのある者等の事前相談について

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の事項を記載した相談申請書（様式任意）に医師の診断書を添えて下記期日までに本学学生支援部入試課に提出してください。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ・障がいの種類・程度         | ・受験の際に特別な配慮を希望する事項   |
| ・修学の際に特別な配慮を希望する事項 | ・日常生活の状況及びその他参考となる事項 |

第1次募集 平成28年6月24日（金）まで

第2次募集 平成28年11月25日（金）まで

第3次募集 平成29年1月20日（金）まで

⑨入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学科・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。

## 6. 受験票の交付

受験票は、出願書類受理後、本人に郵送により交付します。

なお、試験前日までに受験票が到着しないとき、又は受験票を紛失したときは、出願時に提出したものと同一の写真を1枚持参の上、試験当日の9時から9時30分までに受付へ申し出てください。

## 7. 入学者選抜方法

(1) 入学者選抜は、筆記試験の成績、口頭試問の結果及び成績証明書の内容を総合して行います。

学力検査等の科目及び日時等

期 日	試験科目等	時 間	備 考
第1次募集 平成28年7月26日(火)	英 語 (筆記試験)	10:00~12:00	語学の辞書（電子辞書及び医学英語辞書類を除く。）の持込みを許可します。
第2次募集 平成29年1月24日(火)			
第3次募集 平成29年3月7日(火)	口頭試問 (志望する領域を中心に行います。)	13:00~	

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に試験室へ到着した場合に限り、受験を認めます。

(2) 試験会場

大分大学医学部

はさま  
挾間キャンパス

所 在 地

由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地（P. 31 大分大学位置図参照）

交通アクセス

◎バス利用（大分バス）

大分バス 中央通り〔トキハ前2番のりば〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前4番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用（約40分）、「大学病院」下車（詳細は時刻表で確認してください。）

## 8. 合格者発表

第1次募集 平成28年8月9日（火）10時

第2次募集 平成29年2月8日（水）10時

第3次募集 平成29年3月20日（月）10時

大分大学旦野原キャンパス教養教育棟前及び挾間キャンパス管理棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には郵送により通知します。

また、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の問い合わせには一切お応えしません。

## 9. 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続のご案内」によりお知らせします。

なお、入学手続日に入学手続をしなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

## 10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料（年額） 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予の制度があります。詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

**注2 入学料については、平成29年3月に本研究科及び本学の他研究科修士課程（博士前期課程を含む。）を修了し、引き続き本課程に進学する者は、納付する必要はありません。**

注3 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて1年分の納付もすることができます。

注4 国費外国人留学生については、入学料・授業料を納付する必要はありません。

注5 入学料及び授業料は改定の可能性があります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注6 既納の入学料は返還できません。

## 11. 問合せ先

大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL 097-554-6701



# 共 通 事 項

# 入 学 案 内

## 1. 目 的

本学大学院医学系研究科博士課程は、最新の学術を教授・研究し、豊かな教養を身に付けた教育・研究者及び医療人を育成し、もって国民の健康の維持増進を図り、更に地域及び国際社会の福祉に貢献する人材を養成することを目的とします。

## 2. 構成及び修業年限

医学専攻として専攻を単一化し、その中に「基礎研究領域」、「臨床研究領域」、及び「がん研究領域」の3つの領域を設定したうえ、相互に関連づいた履修を可能にしています。

修業年限は4年を標準とします。

## 3. 特 色

### (1) 研究領域の構成と教員組織

医学部においては講座制を採っていますが、本研究科ではこれを更に推進し、従来の講座間の壁を取り払い、「基礎研究領域」、「臨床研究領域」と大きく二分しました。

このことにより、専攻内では当然のことながら、領域間においても教員同士密接な連携をとることが可能であり、人間の複雑多彩な生命現象を自然科学・社会科学を含めた広い視野に立ち、あらゆる分野からの研究活動が可能です。

さらに、両領域のがん関連科目で構成する「がん研究領域」を設置し、多角的ながん研究拠点として社会的要請に応えうる人材を育成します。

### (2) 複数の教員による指導体制

医学の高度化・専門化・細分化が急速に進む現在、基礎医学・臨床医学の区分にとらわれず、それら相互間、あるいは分野間双方に係る研究についての指導体制をとる必要から、修学指導教員・研究指導教員の複数指導体制を採っています。

### (3) がん専門医（がん専門看護師、がん専門薬剤師）について

内科系、外科系の各診療科医師、看護師、薬剤師、それぞれが所属する学会において、がん専門家制度が整備されつつあります。それぞれの専門家制度において取得条件は異なりますが、通常一定の臨床研究の成果が要求されます。本博士課程では、基礎研究・臨床研究を問わずがんの専門家を目指す医師をはじめとした医療者を対象として、それぞれの専門職を取得できるような教育体制（がんプロフェッショナル養成プランというプロジェクト）をとっています。なお、本博士課程でがん以外の研究活動を行っている人であっても、本プロジェクトに参加することが可能です。



#### 4. 授業科目と担当教員一覧 (平成28年5月現在)

##### 【基礎研究領域】

授業科目	授業科目の概要	担当教員
ストレスと健康の心理行動科学	本科目では、現代社会の多様なストレスと健康の問題を心理学的、社会的、公衆衛生学的な観点から多角的に学習し、その理解を深めるとともに、ストレスと健康問題にアプローチするために心理学的、行動科学的視点や研究法を身につけることを目指している。	上野 徳美
組織病理学	生検・手術検体の処理、組織標本の作成、病理組織診断の習得、剖検例のまとめとCPC発表を行う。	横山 繁生 駄阿 勉
がんのゲノム医科学	癌化のメカニズムの核心であるゲノム異常を網羅的に解析して、各臓器癌の発症、進展の分子機構を明らかにする。	守山 正胤 松浦 恵子
イオンチャネルの病態生理学	イオンチャネルの分子機能と病態下での発現制御を解明して細胞内環境の維持と破綻に関わるイオンチャネルの役割を明らかにする。	小野 克重
分子神経科学	神経科学分野の新規生理機能解析にあたり、最新の知見を取り入れ、分子レベルならびに神経回路に基づいた理解を目指す。	花田 礼子
がんの分子生物学	分子および細胞レベルから、癌の発生メカニズムを理解する。	濱田 文彦
がんのリンパ学	癌のリンパ行性転移と腹膜播種性転移のメカニズムを学ぶ。	濱田 文彦 三浦 真弘
分子形態学	細胞間コミュニケーションを担うギャップ結合(GJ)に対する単クローン性抗体を用いたGJ形成過程を解析する。	藤倉 義久
組織形態機能学	様々な臓器で機能不全に至らしめる臓器線維症の発症、進展機序を形態機能学的に解明する。	伊奈 啓輔
分子細胞生物学	遺伝子改変動物モデルを用いたRNA代謝関連分子の生体内機能解析。	花田 俊勝
マトリックス生物学	細胞外マトリックスに存在する分子の発現や機能について学習する。	吉岡 秀克 松尾 哲孝
遺伝子工学(※)	遺伝子操作と遺伝子改変マウスの作製、およびそのマウスを用いた様々な疾患の病態解明と研究方法について学習する。	
糖尿病の分子薬理学	薬物の新規標的分子を探索する細胞生物学的研究法を、糖尿病治療薬を対象として紹介する。	石崎 敏理 木村 俊秀
人間生命医科学発展	医学に直結した生命科学を理解し実践するため、動物の観察や実験、正常と疾患の細胞・組織の観察、DNA抽出などを含む分子生物学的手法を学ぶ。	松浦 恵子
分子細胞免疫学	免疫学の分子基盤について分子レベルおよび細胞レベルでの理解を目指して最新のトピックスも交えて学習する。	小林 隆志
節足動物媒介性感染症学(※)	吸血性昆虫やダニが媒介する感染症の伝播の多様な仕組みや環境要因変化、特に温暖化の影響を学ぶ。	
微生物感染免疫学	細菌・ウイルスによる感染病態の解明、なかでもウイルスの病原性発現機構と宿主の自然免疫・獲得免疫応答の関わり、さらにこれらを基盤とした治療・予防法について講義・演習・実習により学習・習得する。	西園 晃
微生物分子生物製剤学	感染症や悪性新生物に対する分子標的治療薬の作用機序の理解と、それらの開発・応用について、講義・演習・実習により習得する。	伊波 英克

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
感染症疫学 (※)	感染症の発生と流行様式を血清疫学・分子疫学の面から学ぶ。	
分子疫学	分子生物学の手法を用い、感染症としての胃癌の発生機序、疫学について学ぶ。	山岡 吉生
睡眠公衆衛生	睡眠習慣に関する公衆衛生や疫学研究に関する演習を行って、公衆衛生・疫学に関する基礎知識と研究手法について学習する。	兼板 佳孝
臨床疫学	臨床医学で遭遇する問題に対して疫学の手法を用いて、その構造解析や解決策について研究する。個々の患者に対して臨床的な予測を行う目的で、臨床的なパラメータを調べる。臨床医の意思決定と人間集団を対象とした定量的疫学研究を統合する方法論であり、evidence-based medicine(EBM)の根幹をなす。	井谷 修
産業中毒学 (※)	産業現場で利用されている種々化学物質の中毒を予防するため化学物質の曝露、吸収、分布、代謝、排泄の各プロセスでの化学物質の動態を習得し、実践的な中毒予防策を実践できるようにする。	
DNA多型分析の実務的応用	核DNA多型およびミトコンドリアDNA多型分析を親子鑑定および個人識別に応用し、その有用性と問題点について検討する。	岸田 哲子
生物物理化学	生物由来の化合物の構造・機能・反応性について、物理化学的に考察する。	久保田直治 谷川 雅人 下田 恵
微小循環学 (※)	正常、高血糖下および高血圧下における細動脈、毛細血管および細静脈の形態と機能を教授し、毛細血管の新生についても言及する。さらに、毛細リンパ管(リンパ管)の同定、分布および癌の伸展とその関連を討議する。	

### 【臨床研究領域】

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
内分泌代謝・免疫・腎臓病の分子病態医学	糖尿病、高血圧、腎疾患をはじめとする生活習慣病及び自己免疫疾患の発症メカニズムと治療に関する研究を、遺伝要因も含め臓器横断的に行う。	柴田 洋孝
呼吸器内科学・感染症学の実践EBM	基礎および臨床研究を通じて呼吸器疾患の診断法と治療法の高度な理論と実践、および併発する感染症の制御ができ、EBMが構築できることを目標とする。	門田 淳一 安東 優
神経病態科学・認知症医科学	神経疾患及び認知症の分子病態解析、診断・治療法の開発、予防について基礎・臨床の両側面から学習し、研究する。	松原 悦朗
脳卒中病学 (※)	神経疾患としての脳卒中の理解に加え、循環器疾患、血液疾患、老年病としての観点から多角的に病態を理解し、診断・治療法の開発、予防について実験や診療を通じて学習し、研究する。	
消化器感染症と発癌	消化器の持続感染と発癌との関連性を分子生物学的手法を用いて研究する。	村上 和成
消化器内視鏡学	消化器内視鏡学を通して上部・下部消化管疾患、胆道・膵臓疾患を研究する。	村上 和成

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
臨床心臓病学	心血管疾患の病態生理を理解し、発生機序から治療を考え、基礎的研究から治療への探索的研究を目指す。具体的には、虚血・再灌流障害の発生機序を研究し、合併する不整脈の発生機序の解明と治療の開発を目指す。	高橋 尚彦 中川 幹子 油布 邦夫 手嶋 泰之
加齢心臓病学（※）	加齢による心機能の変化を研究する。	
外科循環制御学	心臓疾患・動脈疾患に対する外科的介入方法とその適応を学び、外科侵襲の身体に与える功罪を理解する。	宮本 伸二 穴井 博文 和田 朋之
脳循環代謝・神経外傷病態	脳虚血・神経外傷の病態解明と新しい治療法の開発。	藤木 稔
機能性精神病の生物・心理・社会学	うつ病や双極性障害の病態生理や症状、経過、予後、治療を多角的に検討する。	寺尾 岳
脳と心の科学	分子生物学、脳画像、行動医学から見た精神医学。	穂吉條太郎
発生・発達小児科学	中枢神経系の発生とその関連疾患：成長と成熟、発達の障害。	前田 知己
臨床遺伝学	周産期・小児期に関わる臨床遺伝学を学習する。	井原 健二
発達アレルギー学	小児アレルギー疾患の年齢依存性のoutgrowを免疫学的、栄養学的、環境医学的、遺伝学的に検討し、成人へのcarry over予防法や治療法について考察する。	是松 聖悟
眼科学・病態と治療	視覚障害を生ずる疾患の病態を最新の手法で把握し、その治療を手術療法を含めて研究する。	木許 賢一
視機能の科学	心理物理学的検査の理解と他覚的検査の実施、研究。	久保田敏昭
気道粘膜免疫学	耳・鼻を中心とした上気道における粘膜免疫機構とそれを応用した中耳炎・副鼻腔炎のワクチン治療。	鈴木 正志 渡辺 哲生 平野 隆
創傷診断治療学	創傷治癒に関する知識を得て、その診断、治療に関する考え方を学び、新しいアイデアを生む訓練をする。	波多野 豊 清水 史明
皮膚疾患病態学	最新の研究を、方法論の限界や質問を考えながらレビューし、皮膚疾患の病態を病理組織レベル、及び分子レベルで解説する。批判力を養い、研究の歴史、関連領域も含めて幅の広い学識を得ることも目標とする。	波多野 豊
過大侵襲と酸化ストレス	生体に手術などの過大侵襲が加わると、全身性炎症反応が誘導される。これに伴い活性化された好中球からは活性酸素種が過剰に放出され、いわゆる酸化ストレスが生じ、全身性に血管内皮細胞が傷害される。酸化ストレスが制御できなければ、結果として、多臓器不全へと至り、予後に大きく影響する。よって、周術期管理医学領域では、過大侵襲後の炎症反応だけでなく、酸化ストレスの制御も重要な研究テーマとなっている。	松本 重清
急性炎症と臓器障害	敗血症、多発外傷などの高度侵襲時に、本来は防御機構として生じる炎症反応が過剰となることにより、自己組織が損傷され、多臓器傷害が誘導される。その高い死亡率、発症機序、新規治療法の開発に関しては様々な報告がなされ、周術期管理医学領域では、麻酔科医にとって、最も重要な臨床的・基礎的研究のひとつとなっている。本科目では炎症性メディエータと臓器傷害の関連を解明し、新たな治療法を確立することを目的とする。	北野 敬明
運動器画像診断学	運動器疾患における画像診断の読影法やポイントについて臨床症例より学習する。	津村 弘

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
運動器疾患治療学	主に外科的治療が必要な運動器疾患について外科的治療法の計画について臨床例を基に学習する。	津村 弘
外科臨床診断治療学	消化器外科疾患に対する術前診断，術式選択，摘出標本の観察・診断，および術後症例検討を行い，科学的な臨床判断力を養い，総合的な臨床能力を身に付けることを目的とする。	猪股 雅史 太田 正之
外科分子腫瘍学	腫瘍の増殖・発育・進展および細胞内シグナリングのメカニズムを学習し，各種癌細胞株や動物モデルを用いて，遺伝子およびタンパクレベルの解析を行い，その解明を目的とする。	白石 憲男 太田 正之
排尿機能病態学	下部尿路機能障害の病態生理学的特徴に基づいた診断と治療。	佐藤 文憲
生殖・周産期病態学	生殖医学，周産期医学における生理・病態について学ぶ。	檜原 久司
総合画像診断学	CT，血管造影，核医学，超音波診断学，磁気共鳴診断学を包括した総合画像診断学を，病理学，解剖学，遺伝子異常，臨床像と対比させて教授する。	森 宣 松本 俊郎 岡田 文人 山田 康成
低侵襲治療学	非手術的に低侵襲治療を行なう放射線治療学とInterventional Radiology (IVR)を包括する。遺伝子多型の検索も含めた臨床腫瘍学，血管内治療新技術の開発研究方法等も教授する。	松本 俊郎 清末 一路
救命救急医学	救命救急医学をエビデンスに基づいた各種救急標準コース（心肺蘇生法，外傷初療ならびに災害医学など）を元に教授する。また，学んだ内容を成人学習の理論に基づき効果的に指導しうるよう教授する。	重光 修
脳卒中・神経救急医学	脳卒中をはじめとした脳疾患および神経疾患の救急医療に関する最新の診断・治療を未来の展望も含め習得・研究する。	石井 圭亮
薬物治療解析学	適正な薬物治療の基礎となる薬効評価学，臨床薬理遺伝学を習得する。	上村 尚人
病態薬理遺伝制御学	薬物の体内動態を研究する方法を学び，薬物治療モニタリングが実施可能となる。	今井 浩光
創薬育薬医療コミュニケーション（※）	医療コミュニケーション能力と倫理感の優れた創薬育薬医療スタッフを育成し，「臨床研究の論理と倫理」を身につけるための科目である。	
摂食・嚥下機能（※）	前癌病変からの発癌，癌の転移とその因子，口腔粘膜癌における化学療法の治療効果予測，顔面形態と咀嚼機能，顎顔面先天異常発生に関与する遺伝子異常，口唇・口蓋裂児の顎顔面発育，口腔病変と病態生理。	
硬組織	顎骨の再建，骨髄幹細胞の分化誘導と骨・軟骨の再生，口腔インプラントの維持と機能。	河野 憲司
医薬品適正使用	科学的根拠に基づいた総合的な薬物療法を実施できる能力を身に付けることを目標とする。	伊東 弘樹
地域医療・総合診療学	地域で生活する慢性疾患を有する患者が，安定な病状を維持し，健康に社会生活を送れる要因，一方，増悪により生活の質を低下させる因子を明らかにするために，疾患の経過と社会的・精神的・免疫学的背景の関連について研究する。	宮崎 英士

【がん研究領域】

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
がん分子標的薬開発	がんの臨床および基礎研究の両面の知識を持った人材を育成することが本コースのねらいである。	白尾 國昭 守山 正胤
がんの診断病理学	がんの肉眼的、組織学的特徴を理解し、がんの病理診断に必要な免疫組織化学的手法および遺伝子診断法の習得を目的とする。	横山 繁生 守山 正胤
呼吸器外科腫瘍学	呼吸器領域の悪性腫瘍の発生と増殖メカニズムについて、分子レベルで理解し、分子生物学的理論とエビデンスに基づいた治療体系を習得する。	杉尾 賢二 宮脇美千代
内視鏡外科治療学	内視鏡外科の理論の理解と技術の開発、また生体侵襲や全身・局所への免疫性、腫瘍の発育浸潤に与える影響を、基礎的・臨床的観点から明らかにすることを目的とする。	白石 憲男 猪股 雅史
がん放射線治療学	各種疾患に対する通常の外部照射法や、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療などの適応・方法・効果・副作用を教授し、がん治療における放射線治療の意義を学ぶ。	森 宣
がん薬物療法学	がん薬物療法を選択法、支持療法、効果判定法などを習得する。薬剤の薬理、がん臨床研究の方法論を理解し、標準的化学療法の開発および新規抗がん剤や分子標的薬剤の臨床開発を行う。	白尾 國昭
緩和医療学	癌性疼痛の機構を理解し科学的診断法、薬物療法、神経ブロック療法などの多角的治療法の理論的背景を理解し実施方法を身につけることを目的とする。	奥田健太郎
呼吸器腫瘍診断治療学	呼吸器腫瘍に対してエビデンスに基づいた標準的治療を適切に行う能力、エビデンスを構築するための基礎的・臨床的研究の意義を理解し、それを遂行する能力や臨床的問題への解決・判断能力を養う。同時にがん薬物療法専門医の取得を目指す。	門田 淳一 安東 優
消化器腫瘍診断治療学	消化器腫瘍の診断・治療法の最近の進歩および早期診断・最新治療の導入により、癌患者のQOL向上の可能性について学ぶ。	村上 和成
腎尿路生殖器腫瘍診断治療学	腎尿路生殖器腫瘍の細胞・分子生物学的特徴に基づいた診断と治療。	三股 浩光
婦人科腫瘍診断治療学	婦人科領域の腫瘍における病因・病態について学ぶ。	奈須 家栄
乳腺腫瘍診断治療学	乳腺疾患の基礎的な診断・治療法の教授と多くの無作為比較試験から得られた科学的な根拠に基づく総合的な臨床能力を学習する。	杉尾 賢二 宮脇美千代
中枢神経腫瘍診断治療学	中枢神経腫瘍を形態・脳機能・分子生物学的に総合診断する。	藤木 稔
皮膚腫瘍診断治療学	皮膚腫瘍の病態を病理組織レベル・及び分子レベルで理解し、診断、治療法、疫学について学習する。	波多野 豊 竹尾 直子
骨軟部腫瘍診断治療学	骨および軟部に発生する腫瘍（特に肉腫）について、診断と治療を学習する。	津村 弘
頭頸部腫瘍診断治療学	頭頸部は多様な機能を持つ臓器が隣接し、この領域に発生した腫瘍による症状・所見はそれぞれ特徴がある。本講義では頭頸部の臓器に発生する腫瘍の制御と機能の維持に関する基礎的・臨床的な課題について学ぶ。	鈴木 正志 河野 憲司

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
小児血液・がん診断治療学	小児期の血液悪性疾患，固形がんの発生と基礎的病態。	末延 聡一
地域・在宅医療学	がん医療に関する高い知識・技能を身につけ，地域病院において他診療科医師と協働して病院全体のがん医療の質を向上させ，地域におけるがん在宅医療を他職種とともに実施できる能力を身に付けることを目的とする。	宮崎 英士
臨床腫瘍治療学	臨床腫瘍学に関する深い知識を習得し，外科的治療，放射線治療，薬物治療，緩和ケア等に関する高い技能・態度を身につけ，安全ながん診療をチーム医療として提供できるため，専門診療科に属して実技演習を行う。	宮崎 英士

### 【全領域共通の選択必修】

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
研究推進実践論	<p>(実践セミナー) 実験の手法や手技，各分野に共通した基本的理論修得のために必要な最新の医学・医療知識を学ぶことにより，研究着手に際して必要な技術を習得する。</p> <p>(大学院セミナー) 教授・准教授による専門性を凝縮した講義で，個別の研究に幅を持たせ，診療に従事する際の視野を広げる。これらを年間を通じた日程で行うが，社会人学生には都合に合わせて選択履修が可能な措置を講ずる。</p> <p>(地域医療実践) 社会人学生で，特に地域医療にかかわる者にとっては，指導教員と協議の上で地域医療実践計画書を作成し，上記セミナーでの講義と共に自らが携わる医療現場での症例経験を検討し，地域医療現場での業務の発表や報告書の提出をもって，講義の一部に換えて評価する場合もある。</p>	全 教 員
医療英語	医療英語語彙を習得し，基礎的な医療英語の読解と聴解技能を練成する。	森 茂 大下 晴美
医療英会話	教科書をもとに臨床の話題や実際にあった臨床例を英語で議論する。	森 茂 ショーン・ チドゥロウ
生命倫理学	医療者が臨床における複雑な倫理的課題を解決する能力の養成を、症例検討を通して行うことを目標とする。	今井 浩光
医学統計	医学研究計画の型，データの整理，標本分布，推定と検定，回帰分析，実験計画法，数理感染症モデルを講義する。また，実際の医学研究での統計解析例も紹介する。	江島 伸興
医療情報システム学	病院情報システム全般を理解すると共に，診療情報から研究用のデータベースを作成する際に必要な知識と技術を習得する。	三宅 秀敏 島岡 章

(※) は，担当教員不在のため，平成28年度は開講していません。

## 5. 履修方法

- (1) 本研究科博士課程の修業年限は4年間で，その間に30単位を修得し学位論文の作成及び最終試験に合格することにより，修了することになります。
- (2) 修得すべき30単位の内訳は次に示すとおりです。  
全領域共通の選択必修4科目の中から1科目5単位，所属する領域の授業科目の中から1科目5

単位、また、他領域を含めた全ての授業科目の中から1科目5単位を履修し、合計15単位を修得します。

更に、テーマを決めた学位論文作成に至る「論文作成研究」として5単位を修得し、学位論文審査委員会の審査に合格した「博士論文」として10単位を修得します。

## 6. 学位の授与

- (1) 博士（医学）の学位を授与します。
- (2) 学位は、大学院に4年以上在学し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。  
ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年以上在学した大学院学生についても授与することがあります。

## 7. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により貸与が認められた場合の貸与月額は、次のとおりです。

大学院第一種奨学金（無利子）	月額 80,000円又は122,000円
大学院第二種奨学金（有利子）	月額 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

## 8. 大分大学入学料・授業料奨学融資制度

入学料や授業料の融資を大学が指定する金融機関から受けた方の在学中の利息を大学が負担する制度があります。日本人学生が対象です。詳細は学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)までお問い合わせください。

## 9. 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、大学院在学中の実験・実習等の正課、学校行事又は課外活動中及び通学中に不慮の事故により被った負傷、死亡等の災害に対する補償制度であり、保険料は4年間分で3,370円です。  
なお、加入方法等については、後日合格通知書等でお知らせします。

## 10. 長期履修制度について

この制度では、標準修業年限を超えて計画的に授業科目を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修制度を利用できる対象者は、有職者及び正規の履修期間内で修学が困難な事情がある者（家事、育児及び介護など）です。

この制度の利用は原則として入学時の申請により認められます。また、修学状況等の変動により、申請した修業年限を短縮することも可能です。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、下記の「授業料の納入例」を参照して下さい。

また、入学後履修期間を延長する場合、授業料総額に追加的費用が発生します。

なお、申請方法等については後日合格通知書等でお知らせします。

### 【授業料の納入例】（年度により変更がないと仮定した場合）

標準修業年限（4年）、授業料年額535,800円

1年次 535,800円	2年次 535,800円	3年次 535,800円	4年次 535,800円	2,143,200円
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------

入学時に申請し、8年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 267,900円	2年目 267,900円	3年目 267,900円	4年目 267,900円	5年目 267,900円	6年目 267,900円	7年目 267,900円	8年目 267,900円
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

2,143,200円 ÷ 8年 = 267,900円（1年間の授業料）

### 11. 指導教員（教授等）の連絡先一覧（平成28年5月現在）

教員名	内線番号	FAX番号	E-mail	備考
あな い ひろ ふみ 穴 井 博 文	5 1 4 5	0 9 7 - 5 8 6 - 5 1 4 6	anaiana	
あん どう まさる 安 東 優	5 8 0 1	0 9 7 - 5 4 9 - 4 2 4 5	mando	
いし ぎき とし まさ 石 崎 敏 理	5 7 2 2	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 2 9	t-ishizaki	
いとう ひろ き 伊 東 弘 樹	6 1 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 1 1 9	itoh	
いの また まさ ふみ 猪 股 雅 史	5 8 4 1	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 3 9	inomata	
い はら けん じ 井 原 健 二	5 8 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 3 9	k-ihara	
うえ の とく み 上 野 徳 美	5 6 0 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	ueno	
うえ むら なお と 上 村 尚 人	5 9 5 0	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 4 4	uemura	
お の かつ しげ 小 野 克 重	5 6 5 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 4 6	ono	
かね いた よし たか 兼 板 佳 孝	5 7 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 3 9	kaneita	
かわ の けん じ 河 野 憲 司	6 7 0 0	0 9 7 - 5 4 9 - 2 8 3 8	kekawano	
きし だ てつ こ 岸 田 哲 子	5 7 5 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 5 4	kishida	
きた の たか あき 北 野 敬 明	5 9 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 9 4 9	tkitano	
くぼ た とし あき 久保田 敏 昭	5 9 0 0	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 4 3	tkubota	
こ ばやし たか し 小 林 隆 志	5 7 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 0 2	takashik	
しげ みつ おさむ 重 光 修	6 6 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 5 9 8	oshige	
しば た ひろ たか 柴 田 洋 孝	5 7 9 4	0 9 7 - 5 4 9 - 4 4 8 0	hiro-405	
しら いし のり お 白 石 憲 男	6 1 4 8	0 9 7 - 5 8 6 - 6 3 0 7	norioh	
しら お くに あき 白 尾 國 昭	5 7 3 4	0 9 7 - 5 8 6 - 6 2 7 6	kshirao	
すぎ お けん じ 杉 尾 賢 二	5 8 5 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 4 4 9	ksugio	
すず き まさ し 鈴 木 正 志	5 9 1 3	0 9 7 - 5 4 9 - 0 7 6 2	suzukim	
たか はし なお ひこ 高 橋 尚 彦	6 0 3 8	0 9 7 - 5 8 6 - 6 2 8 9	takanao	
たに がわ まさ と 谷 川 雅 人	5 6 0 3	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	tanigawa	
つ むら ひろし 津 村 弘	5 8 7 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 4 7	htsumura	
てら お たけし 寺 尾 岳	5 8 2 0	0 9 7 - 5 4 9 - 3 5 8 3	terao	
なか がわ みき こ 中 川 幹 子	6 3 4 4		mikinak	
なら はら ひさ し 榑 原 久 司	5 9 2 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 8 7	naraharh	
にし その あきら 西 園 晃	5 7 1 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 1 9	a24zono	
は た の ゆたか 波多野 豊	5 8 8 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 8 9	hatano	



教員名	内線番号	FAX番号	E-mail	備考
はな だ とし かつ 花 田 俊 勝	5 6 6 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 6 5	thanada	
はな だ れい こ 花 田 礼 子	5 6 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 4 9	reiko-hanada	
はま だ ふみ ひこ 濱 田 文 彦	5 6 2 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 2 3	hamadaf1	
ふじ き みのる 藤 木 稔	5 8 6 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 6 9	fujiki	
ふじ くら よし ひさ 藤 倉 義 久	5 6 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 2 2 1	ham8	
まつ うら けい こ 松 浦 恵 子	5 6 0 8	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	matsuura	
まつ ぼら えつ ろう 松 原 悦 朗	5 8 1 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 5 0 2	etsuro	
み三 また ひろ みつ 三 股 浩 光	5 8 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 9 9	mimata	
み三 やけ ひで とし 三 宅 秀 敏	5 4 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 1 6 0	miyakeh	
みや ぎき えい し 宮 崎 英 士	6 1 4 9	0 9 7 - 5 8 6 - 6 3 0 7	eishida	
みや もと しん じ 宮 本 伸 二	6 7 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 7 3 9	smiyamot	
むら かみ かず なり 村 上 和 成	6 1 9 1	0 9 7 - 5 8 6 - 6 1 9 3	murakam	
もり しろむ 宣 森 宣	5 9 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 0 0 2 5	morihrmu	
もり やま まさ つぐ 守 山 正 胤	5 6 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 9 9	mmoriyam	
やま おか よし お 山 岡 吉 生	5 7 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 4 9	yyamaoka	
よこ やま しげ お 横 山 繁 生	5 6 8 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 8 6	yokoyama	
よし おか ひで かつ 吉 岡 秀 克	5 6 7 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 7 4	hidey	

- (注) 1. 出願を希望する者は、あらかじめ志望する指導教員と相談の上出願してください。
2. 本学はダイヤルイン方式になっています。したがって、市外から電話をする場合は市外局番(097)及び局番(586)の後に内線番号をダイヤルすれば、担当教員と直接通話ができます。
3. E-mailは、ドメイン名以下(@oita-u.ac.jp)を省略して表示しています。

# 大分大学位置図

## 大分大学医学部 (挟間キャンパス) ※試験会場

所在地 由布市挟間町医大ヶ丘1丁目1番地

T E L 097-586-5540, 5541

交通アクセス ◎バス利用 (大分バス)

大分バス 中央通り [トキハ前2番のりば] 又はJR大分駅府内中央口 (北口) [大分駅前4番のりば] から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用 (約40分), 「大学病院」下車 (詳細は時刻表で確認してください。)

## 大分大学学生支援部入試課 (巨野原キャンパス) ※入学志願書提出先

所在地 大分市大字巨野原700番地

T E L 097-554-6701

交通アクセス <JR利用>

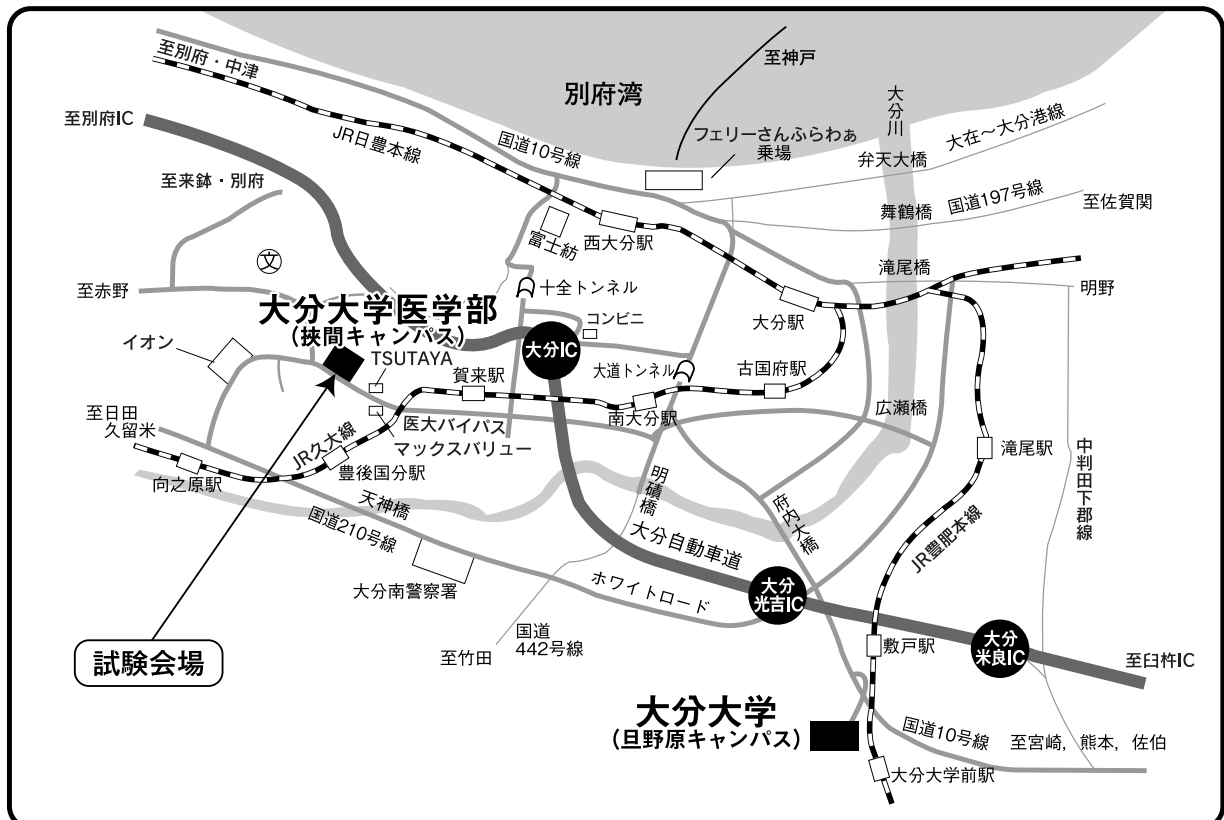
JR豊肥本線「大分大学前駅」下車 (大分駅より約12分), 徒歩約10分  
<バス利用>

大分バス 中央通り [トキハ前1番のりば] 又はJR大分駅府内中央口 (北口) [大分駅前3番又は4番のりば] から

○「大南団地 (高江ニュータウン)」行きを利用 (約40分), 「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次, 臼杵, 佐伯」行きを利用 (約40分), 「大分大学入口」下車, 徒歩約10分

(詳細は時刻表で確認してください。)



# Admission Policy of Oita University Graduate School of Medicine

## Basic Philosophy

Complex and sophisticated changes are constantly being made in the medical fields. To keep up-to-date on techniques and ethical standards, medical professionals and researchers continue to study. Our philosophy is to support their intent to advance nursing and medical care, promote health and welfare in the local and international communities.

## Educational Targets

### Master's Degree Program

(omitted)

### Doctoral Program

Aim to train compassionate, smart;independent and capable clinicians and researchers who can work at a high level of medical care in an international environment.

## Suitable Candidates

### Master's Degree Program

(omitted)

### Doctoral Program

- 1 . People who aim to work in medicine in the international community.
- 2 . People who can conduct comprehensive research in various fields of medicine, and who have a high level of knowledge in their specialty and who are keen to conduct their research proposals in a highly professional manner.
- 3 . People who aspire for the results of their research to be published in journals and to be evaluated by the international community.
- 4 . People who aim to contribute to the advancement of medical science to maintain and improve public health.
- 5 . People who aspire to be professional cancer experts, who can provide education, about cancer as well as research and treat cancer. This need has come about with the growing public awareness and interest in cancer.

## Selection Process of Successful Applicants

### Master's Degree Program

(omitted)

### Doctoral Program

The university will select students who fulfill the above suitable candidate criteria and have expertise, techniques and capability. Preference will also be given to those who possess high ethics and humanity, and can work internationally and interdisciplinary.

# Oita University Graduate School of Medicine Diploma Policy in the Faculty of Medicine

## **[Graduate School of Medicine]**

On completion of Oita University Graduate School of Medicine Doctoral Program, the Doctor of Philosophy (Ph. D. in Medicine) shall be awarded to candidates who have acquired academic and research skills necessary for an independent researcher or a medical specialist with a high degree of professionalism and who meet all of the following criteria:

- 1 . Who have acquired deep knowledge in basic and clinical medicine or life science, data gathering abilities and analytical capabilities.
- 2 . Who are capable of finding and resolving tasks in their respective research fields or in clinical experience.
- 3 . Who are capable of analyzing objectively their research results, making a presentation on the aim, background, research methods and results of their research, and discussing the potential for further research as well as publishing their own achievements in scientific papers written in English.
- 4 . Who understand state-of-the-art medical technology and carry it out in clinical practice on a scientific basis.
- 5 . Who possess high ethical standards based on practical experience in their research and clinical practice.
- 6 . Who can contribute to the welfare and prosperity of humankind through their medical research.

# Fall Admissions (October 2016)

## Student Entry Requirements

### 1. Admission Schedule

Type	Period
Application Period	Monday, July 11, 2016-Friday, July 15, 2016
Examination Date	Tuesday, July 26, 2016
Announcement of Result	Tuesday, August 9, 2016

### 2. Number of Students Admitted      Medical Science: A few

(Including part-time students and Working Adult students)

Major	Field	Number of Students
Medical Science	Fundamental Research	A few
	Clinical Research	
	Cancer Research	

(Remarks)

1. Applicants must apply for their field of choice in order of preference. Up to two choices will be accepted.
  2. Working Adult Students are defined as those who work as doctors or researchers in a public office, hospital, company, etc. These students will continue to work in their professions once admitted to the university.
- \* To ensure Working Adult Students have access to our Graduate School, we adhere to Article 14 of the Standards for the Establishment of Graduate School Law. Those who have been approved for special circumstances will discuss with the tutor regarding access to research facilities and tutors outside regular hours. Please refer to the Special Measures for Working Adult Student.

### 3. Application Requirements

Applicants must fulfill one of the following requirements by the end of September, 2016.

- (1) Graduate from a university in Medicine or Dentistry or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (2) Complete 18 years of formal education in a foreign country, achieving a degree in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (3) Complete 18 years of education through distance learning with a foreign school while residing in Japan, achieving a degree in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary medicine.
- (4) Complete 18 years of formal education in a foreign country, and graduate from a foreign university in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine. The university must be recognized by the Ministry of Education, Culture, Sport and Technology of Japan.
- (5) Complete 16 years of formal education in a foreign country and study Medicine, Dentistry or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary medicine for at least 4 years Complete 16 years of study with a foreign school through distance education in Japan, achieving a degree in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine Complete 16 years of study with a foreign school through distance education in Japan hold a foreign university degree from a university in Japan or an educational institution approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in Japan, and achieve excellent grades and receive credits from Oita University Graduate School.

- (6) Nominated by the Ministry of Education, Culture, Sport and Science and Technology.
- ① Graduated in Medicine or Dentistry from a Medical or Dentistry Faculty according to the Old University Order (Imperial Ordinance No. 388, 1918).
  - ② Graduated from the National Defense Medical College according to the Defense Agency Act (Act No.164, 1954).
  - ③ Completed, or expect to complete by September 2016, a Japanese Master's degree.
  - ④ Complete at least 2 years of coursework at graduate school, acquired at least 30 credits and necessary research guidance (under the Ordinance to amend part of the degree rules of 1974 Ministry of Education Decree No.29, or by prior degree regulations under the 1953 Ministry of Education Decree No.9, including persons falling under article 6(1), no. 1.), and achieve the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
  - ⑤ Graduate from a university (not in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine) or graduate after completing 16 years of school education in a foreign country, and research Medicine for at least two years in a university or institute, etc. and achieve the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (7) Working Adult Students of at least 24 years of age, who are deemed by Oita University to have the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry, or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.

#### 4. Application Requirements Documentation

People applying under 3. Application Requirements (5), (6) ④, ⑤ or (7) must apply for preliminary eligibility screening and submit the following documents when requested.

(1) Documents Required

- ① Those applying under (5) are required to submit the following.

Documents Required	Brief Particulars
① Qualification Form	Use the designated form. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Academic Transcripts	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. * For Name changes due to marriage etc., proof of name change by supplying a family register is required.
③ School Registration Certificate (years of attendance must be shown)	
④ Research Proposal	Use the designated form.

- ② Those applying under (6) ④, ⑤ or (7) are required to submit the following.

Documents Required	Brief Particulars
① Qualification Form	Use designated form. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Academic Transcripts	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. * For Name changes due to marriage etc., proof of name change by supplying a family register is required.
③ Research Proposal	Use the designated form.
④ List of Achievements	Use the designated form. Use one box per achievement. Limit of three.

- (2) Submission Period: June 20 (Mon)- Must Arrive By 17:00, June 24, 2016 (Fri)
- (3) Submission in Person: Dannoharu Campus, Entrance Examination Division, Student Affairs Depart-

ment, Oita University

- (4) By Post: Send by Registered Express Post. The front of the envelope must have 'Application Forms Enclosed' written in red.
- (5) Results: Results of screening will be available to the applicant by July 6, 2016 (Wed) .

## 5. Application Procedures

- (1) Period of Application: Monday, July 11, 2016 – Must Arrive By 17:00, Friday, July 15, 2016
- (2) Application Procedure
- ① Applicants must apply for their field of choice in order of preference.
  - ② Applicants are required to discuss their research proposal with their choice of tutor (list available p. 52 – 58 and p.61 – 62) prior to application.
  - ③ Application Forms must be sent in the designated envelope and submitted in person or sent by post.
  - ④ Submission in Person: Dannoharu Campus, Entrance Examination Division, Students Affairs Department, Oita University
  - ⑤ Hours : 9 :00 – 17:00
  - ⑥ By Post: Send by Registered Express Post to the below address. It must arrive by 17:00 on the last day of the period of application.  
(To) Entrance Examination Division , Students Affairs Department, Oita University 700 Oaza-Dannoharu, Oita City, 870 – 1192
- (3) Documents Required (Documents will not be returned)

Documents Required	Brief Particulars
① Application for Admission	Use the designated form. Carefully read the instructions. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Photograph Form/ Examination Slip	Use the designated form and attach photograph with glue. Must be of head and upper body. No head coverings. Facing the front. Must be 4cm long × 3cm wide.
③ Proof of Payment Form of Application Fee (30,000JPY)	Payment is required by one of the following two methods.  ① <u>Payment at bank (including Post Office)</u> Use the designated transfer form. Must pay at a teller. Payment at an ATM not accepted. After payment has been made, you will receive a proof of payment slip. This must be glued to the designated form.  ② <u>Payment at a convenience store (with service available)</u> Apply through the below homepage by entering your testing number. And then pay at a convenience store. After payment has been made, you will receive a proof of payment slip. This must be glued to the designated form. • Homepage from a computer ( <a href="https://www.oita-u.ac.jp/">https://www.oita-u.ac.jp/</a> ) <a href="#">Menu</a> → <a href="#">Admission Information</a> → <a href="#">Appl. Fee Payment at Con. Store</a> • From a cell phone ( <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a> ) * Some filtering services on cell phones may cause access to be denied. We apologize for the inconvenience. * Handling fees are to be paid for by the applicant. * Application Fees are non-refundable under any circumstances. <b>* State sponsored International Exchange Students and students enrolled as of September 2016 in this Research Doctoral Course or in a Master's Course at Oita university, do not need to pay this Application Fee.</b>



④ Academic Transcripts	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. (If these were provided when the preliminary eligibility screening took place, they do not need to be submitted)
⑤ Certificate of Graduation (or expected graduation) Or Certificate of Completion (or expected completion)	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language.
⑥ Consent to Sit Examination	Use the designated form. A letter of Consent is required to sit the examination from the head of the <u>public office, company, or hospital where the applicant is currently employed or studying.</u>
⑦ Consent to Sit Examination and Enroll (for Working Adult applicants only)	Use the designated form. <u>Required from applicants who will continue to work at their current employment while completing the course.</u> Use as a substitute for ⑥.
⑧ Resident's card specifying residence status (for foreign applicants only)	For Non-Japanese residing in Japan. This is available at the village, town, ward or city office. Names on application forms must be written the same as they appear on this certificate.
⑨ Application qualification notice (copy)	Applicants who passed
⑩ Address Labels	Requires applicant's name, address and postal-code of location that the Notice of Acceptance should be sent to.
⑪ Envelope for return of Examination Slip	This type 3 envelope requires your name, address and postal-code and a 362 JPY stamp attached.

#### (4) Instructions

- ① Be sure not to miss anything on the Application For Admission.
- ② Due to marriage etc., if your current name differs from names on your documents, you must supply a family register to prove the change.
- ③ Documents differ with Fall Admission (October 2016) and Spring Admission (April 2017). Be careful when selecting admission period.
- ④ Once a document has been admitted, it will not be returned under any circumstances.
- ⑤ After the application period, no additional documents will be accepted.
- ⑥ Send all application forms and documents together.
- ⑦ If any discrepancies are found in applications and documents even after admission to study is granted permission to study will be void.
- ⑧ Information on Prior Consultation for Applicants with a Disability

To accommodate for disabilities the university requests Applicants with disabilities to contact the university to arrange a Prior Consultation. When arranging a consultation, the applicant is required to present a Doctor's Certificate and the following information to the Entrance Examination Division, Student Affairs department of the university by June 24, 2016 (Fri).

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| ( | • Type and degree of disability                | • Special needs at time of examination      | ) |
|   | • Special needs while attending the university | • Details on daily needs and other comments |   |

- ⑨ Documents and personal information submitted by applicants will be protected by the Independent Administrative Agency and the Privacy Policy of Oita University. Information will not be used for business operations, statistical processing etc., However, these documents will be used in the screen-

ing processes for scholarship applications and tuition waivers or delays.

## 6. Issue of Examination Slips

Once application forms and documents have been processed, Examination Slips will be sent to applicant.

If an applicant does not receive the Examination Slip by the day before the examination date, or the examination Slip is lost, the applicant must come to the examination hall between 9 :00 – 9 :30 on the day of the examination with the another copy of the application photograph.

## 7. Selection Process of Successful Applicants

(1) The selection of successful applicants will include the consideration of the written and oral examinations and the academic transcripts submitted with the application.

Date, Type and Time of Examination

Date	Examination Subject	Time	Remarks
July 26, 2016 (Tuesday)	English (Written Examination)	10:00~12:00	English dictionaries are permitted (except electronic dictionaries and Medical term dictionaries)
	Oral Examination (Based on applicants' requested study field)	From 13:00	

\* Applicants arriving late will only be able to sit the examination if they arrive within 20 minutes from the start of the examination.

(2) Examination Location

Faculty of Medicine, Oita University: Hasama Campus

Location : 1 - 1 Idaigaoka, Hasama-machi, Yufu City (See map on p.63)

Access: \* By bus (Oita Bus)

From Bus Stop 2 in front of the 'Tokiwa Department Store', at Oita Bus Co., take a bus to 'Daigaku Byoin'.

From Bus Stop 4 in front of JR Oita Station Funai Chuo Exit (North exit) , take a bus to 'Daigaku Byoin'. It is about a 40 minute ride

## 8. Announcement of Results

10:00 August 9, 2016 (Tue)

Application numbers of Successful Applicants will be posted in front of the General Education Building, Dannoharu Campus and in front of the Administration Building, Hasama Campus. Notice of Acceptance will also be sent by post.

Application numbers of Successful Applicants will appear on the Oita university (homepage at <http://www.oita-u.ac.jp/>).

Telephone enquires will not be accepted regarding the Announcement of Result.

## 9. Enrollment Procedures

Details on Enrollment Procedures will be sent to successful applicants along with the Notice of Acceptance.

Failure to complete the Enrollment Procedures on the date above will be considered refusal to enroll.

## 10. Enrollment Fees and Tuition Fees

Enrollment Fee : 282,000 JPY

Tuition Fees(Annual) : 535,800 JPY (First Installment 267,900 JPY Second Installment 267,900 JPY)

- \* 1 The payment of Enrollment Fees is required. However, exceptions to Tuition Fee payment may be considered. For further information, contact the Support Group, Student Assistance Division at 097-554-7386.
- \* 2 **Students enrolled in the Research Doctoral Course or in a Master's Course at Oita university as of September 2016 do not need to pay this Enrollment Fee.**
- \* 3 When paying the First Installment of Tuition Fees, the Second Installment can also be paid.
- \* 4 State Sponsored International Exchange Students are not responsible for Enrollment Fee or Tuition Fee payments.
- \* 5 Enrollment Fee or Tuition Fees may be revised. If this occurs students will be required to pay the revised Fees.
- \* 6 Refunds of Enrollment Fees can not be made.

## 11. University Contact Information:

Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University

700 Oaza-Dannoharu, Oita City, 870-1192

TEL 097-554-6701



# April 2017 Admissions

## Student Entry Requirements

### 1. Admission Schedule

Type	First	Second	Third
Application Period	Monday, July 11, 2016 ~Friday, July 15, 2016	Wednesday, January 4, 2017 ~Friday, January 6, 2017	Monday, February 13, 2017 ~Friday, February 17, 2017
Examination Date	Tuesday, July 26, 2016	Tuesday, January 24, 2017	Tuesday, March 7, 2017
Announcement of Result	Tuesday, August 9, 2016	Wednesday, February 8, 2017	Monday, March 20, 2017

※When we have enough numbers of the applicants, we will close the application process.

※If the second and third application periods are held, notices will be posted on the homepage.

### 2. Number of Students Admitted      Medical Science :    30

(Including part-time students and Working Adult students)

Major	Field	Number of Students
Medical Science	Fundamental Research	30
	Clinical Research	
	Cancer Research	

(Remarks)

1. Applicants must apply for their field of choice in order of preference. Up to two choices will be accepted.
  2. Working Adult Students are defined as those who work as doctors or researchers in a public office, hospital, company, etc. These students will continue to work in their professions once admitted to the university.
- \* To ensure Working Adult Students have access to our Graduate School, we adhere to Article 14 of the Standards for the Establishment of Graduate School Law. Those who have been approved for special circumstances will discuss with the tutor regarding access to research facilities and tutors outside regular hours. Please refer to the Special Measures for Working Adult Student.

### 3. Application Requirements

Applicants must fulfill one of the following requirements by the end of March, 2017

- (1) Graduated from a university in Medicine or Dentistry or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (2) Completed 18 years of formal education in a foreign country, achieving a degree in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (3) Completed 18 years of education through distance learning with a foreign school, while residing in Japan, achieving a degree in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary medicine.
- (4) Completed 18 years of formal education in a foreign country, and graduate from a foreign university in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine. The university must be recognized by the Ministry of Education, Culture, Sport and Technology in Japan.
- (5) Complete 16 years of formal education in a foreign country and study Medicine, Dentistry or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary medicine for at least 4 years Complete 16 years of study with a foreign school through distance education in Japan, achieving a

degree in Medicine, Dentistry or Veterinary Medicine Complete 16 years of study with a foreign school through distance education in Japan hold a foreign university degree from a university in Japan or an educational institution approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in Japan, and achieve excellent grades and receive credits from Oita University Graduate School

- (6) Nominated by the Ministry of Education, Culture, Sport and Science and Technology.
- ① Graduated in Medicine or Dentistry from a Medical or Dentistry Faculty according to the Old University Order (Imperial Ordinance No.388, 1918).
  - ② Graduated from the National Defense Medical College according to the Defense Agency Act (Act No.164, 1954).
  - ③ Completed, or expect to complete by April 2017, a Japanese Master's degree.
  - ④ Complete at least 2 years of coursework at graduate school, acquired at least 30 credits and necessary research guidance (under the Ordinance to amend part of the degree rules of 1974 Ministry of Education Decree No. 29, or by prior degree regulations under the 1953 Ministry of Education Decree No. 9, including persons falling under article 6(1), no. 1.), and achieve the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
  - ⑤ Graduate from a university (not in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine) or graduate after completing 16 years of school education in a foreign country, and research Medicine for at least two years in a university or institute, etc. and achieve the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry, Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.
- (7) Working Adult Students of at least 24 years of age, who are deemed by Oita University to have the scholastic ability of a graduate in Medicine, Dentistry or complete six years of study in Pharmacy (Pharmaceutical Sciences) or Veterinary Medicine.

#### 4. Application Requirements Documentation

People applying under 3. Application Requirements (5), (6)④, ⑤ or (7) must apply for preliminary eligibility screening and submit the following documents when requested.

##### (1) Documents Required

- ① Those applying under (5) are required to submit the following.

Documents Required	Brief Particulars
① Qualification Form	Use the designated form. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Academic Transcripts	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. * For Name changes due to marriage etc., proof of name change by supplying a family register is required.
③ School Registration Certificate (years of attendance must be shown)	
④ Research Proposal	Use designated form.

- ② Those applying under (6)④, ⑤ or (7) are required to submit the following.

Documents Required	Brief Particulars
① Qualification Form	Use the designated form. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Academic Transcripts	Head of School must have signed the documents. All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language. * For Name changes due to marriage etc., proof of name change by supplying a family register is required.
③ Research Proposal	Use the designated form.
④ List of Achievements	Use the designated form. Use one box per achievement. Limit of three.

- (2) Submission Period:  
 First Period : Monday, June 20-Must Arrive By 17:00, Friday, June 24, 2016  
 Second Period : Monday, November 21-Must Arrive By 17:00, Friday, November 25, 2016  
 Third Period : Monday, January 16-Must Arrive By 17:00, Friday, January 20, 2017
- (3) Submission in Person: DannoHaru Campus, Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University
- (4) By Post: Send by Registered Express Post. The front of the envelope must have 'Application Forms Enclosed' written in red.
- (5) Results: Results of screening will be available to the applicant by;  
 First Period : Wednesday, July 6, 2016  
 Second Period : Monday, December 12, 2016  
 Third Period : Wednesday, February 8, 2017

## 5. Application Procedures

- (1) Period of Application:  
 First Period : Monday, July 11-Must Arrive By 17:00, Friday, July 15, 2016  
 Second Period : Wednesday, January 4 -Must Arrive By 17:00, Friday, January 6, 2017  
 Third Period : Monday, February 13-Must Arrive By 17:00, Friday, February 17, 2017
- (2) Application Procedure
- ① Applicants must apply for their field of choice in order of preference.
  - ② **Applicants are required to discuss their research proposal with their choice of tutor (list available p.52 – 58 and p.61 – 62) prior to application.**
  - ③ Application Forms must be sent in the designated envelope and submitted in person or sent by post.
  - ④ Submission in Person: DannoHaru Campus, Entrance Examination Division, Students Affairs Department, Oita University
  - ⑤ Hours : 9 :00 – 17:00
  - ⑥ By Post: Send by Registered Express Post to the below address. It must arrive by 17:00 on the last day of the period of application.  
 (To) Entrance Examination Division, Students Affairs Department, Oita University 700 Oaza-DannoHaru, Oita City, 870 – 1192
- (3) Documents Required (Documents will not be returned)

Documents Required	Brief Particulars
① Application for Admission	Use the designated form. Carefully read the instructions. Non-Japanese applicants are required to use the designated form for Non-Japanese applicants.
② Photograph Form/ Examination Slip	Use the designated form and attach your photograph with glue. Must be of head and upper body. No head coverings. Facing the front. Must be 4cm long × 3cm wide.
③ Proof of Payment Form of Application Fee (30, 000JPY)	Payment is required by one of the following two methods. ① <u>Payment at bank (including Post Office)</u> Use the designated transfer form. Must pay at a teller. Payment at an ATM not accepted. After payment has been made, you will receive a proof of payment slip. This must be glued to the designated form. ② <u>Payment at a convenience store (with service available)</u> Apply through the below homepage by entering your testing number. And then pay at a convenience store.



	<p>After payment has been made, you will receive a proof of payment slip. This must be glued to the designated form.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Homepage from a computer ( <a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a> )  <a href="#">Menu</a> → <a href="#">Admission Information</a> → <a href="#">Appl. Fee Payment at Con. Store</a></li> <li>• From a cell phone ( <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a> )</li> </ul> <p>* Some filtering services on cell phones may cause access to be denied.  We apologize for the inconvenience.</p> <p>* Handling fees are to be paid for by the applicant.  * Application Fees are non-refundable under any circumstances.  * <b>State sponsored International Exchange Students and students enrolled as of March 2017 in the Research Doctoral Course or in a Master's Course at Oita university, do not need to pay this Application Fee.</b></p> 
④ Academic Transcripts	<p>Head of School must have signed the documents.  All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language.  (If these were provided when the preliminary eligibility screening took place, they do not need to be submitted)</p>
⑤ Certificate of Graduation (or scheduled graduation) Or Certificate of Completion (or expected completion)	<p>Head of School must have signed the documents.  All documents must be in Japanese or English. Translated documents are required in Japanese or English for documents not originally in either language.</p>
⑥ Consent to Sit Examination	<p>Use the designated form. A letter of Consent is required to sit the examination from the head of <u>the public office, company, or hospital where the applicant is currently employed or studying.</u></p>
⑦ Consent to Sit Examination and Enroll (for Working Adult applicants only)	<p>Use the designated form. <u>Required from applicants who will continue to work at their current employment while completing the course.</u> Use as a substitute for ⑥.</p>
⑧ Resident's card specifying residence status (for foreign applicants only)	<p>For Non-Japanese residing in Japan. This is available at the village, town, ward or city office. Names on application forms must be written the same as they appear on this certificate.</p>
⑨ Application qualification notice(copy)	<p>Applicants who passed</p>
⑩ Address Labels	<p>Requires applicant's name, address and postal-code of location that the Notice of Acceptance should be sent to.</p>
⑪ Envelope for return of Examination Slip	<p>This type 3 envelope requires your name, address and postal-code and a 362 JPY stamp attached.</p>

#### (4) Instructions

- ① Be sure not to miss anything on the Application For Admission.
- ② Due to marriage etc., if your current name differs from names on your documents, you must supply a family register to prove the change.
- ③ Documents differ with Fall Admission (October 2016) or Spring Admission (April 2017) . Be careful when selecting admission period.
- ④ Once a document has been admitted, it will be returned under any circumstances.
- ⑤ After the application period, no additional documents will be accepted.
- ⑥ Send all application forms and documents together.

⑦ If any discrepancies are found in applications and documents even after admission to study is granted permission to study will be void.

⑧ Information on Prior Consultation for Applicants with a Disability

To accommodate for disabilities the university requests Applicants with disabilities contact the university to arrange a Prior Consultation. When arranging a consultation, the applicant is required to present a Doctor's Certificate and the following information to the Entrance Examination Division, Student Affairs department of the university by;

First term : June 24, 2016 (Fri)

Second term : November 25, 2016 (Fri)

Third term : January 20, 2017 (Fri)

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| ( | • Type and degree of disability                | • Special needs at time of examination      | ) |
|   | • Special needs while attending the university | • Details on daily needs and other comments |   |

⑨ Documents and personal information submitted by applicants will be protected by the Independent Administrative Agency and the Privacy Policy of Oita University. Information will not be used for business operations, statistical processing etc., However, these documents will be used in the screening processes for scholarship applications and tuition waivers or delays.

## 6. Issue of Examination Slip

Once application forms and documents have been processed, Examination Slips will be sent to applicant.

If an applicant does not receive the Examination Slip by the day before the examination date, or the examination Slip is lost, the applicant must come to the examination hall between 9 :00- 9 :30 on the day of the examination with the another copy of the application photograph.

## 7. Selection Process of Successful Applicant

(1) The selection of successful applicants will include the consideration of the written and oral examinations and the academic transcripts submitted with the application.

Date, Type and Time of Examination

Date	Examination Subject	Time	Remarks
First term: July 26, 2016 (Tuesday)	English (Written Examination)	10:00~12:00	English dictionaries are permitted (except electronic dictionaries and Medical term dictionaries)
Second term: January 24, 2017 (Tuesday)			
Third term: March 7, 2017 (Tuesday)	Oral Examination (Based on applicants requested study field)	From 13:00	

\* Applicants arriving late will only be able to sit the examination if they arrive within 20 minutes from the start of the examination.

(2) Examination Location

Faculty of Medicine, Oita University: Hasama Campus

Location : 1 - 1 Idaigaoka, Hasama-machi, Yufu City (See map on p.63)

Access: \* By bus(Oita Bus)

From Bus Stop 2 in front of the 'Tokiwa Department Store', at Oita Bus Co., take a bus to 'Daigaku Byoin'.

From Bus Stop 4 in front of JR Oita Station Funai Chuo Exit (North exit) , take a bus to 'Daigaku Byoin'. It is about a 40 minute ride

## 8. Announcement of Result

- First term : 10:00 August 9, 2016 (Tue)
- Second term : 10:00 February 8, 2017 (Wed)
- Third term : 10:00 March 20, 2017 (Mon)

Application number of Successful Applicants will be posted in front of the General Education Building, Dannoharu Campus and in front of the Administration Building, Hasama Campus Notice of Acceptance will also be sent by post.

Application numbers of Successful Applicants will appear on the Oita university (homepage at <http://www.oita-u.ac.jp/>)

Telephone enquires will not be accepted regarding the Announcement of Result.

## 9. Enrollment Procedures

Details on Enrollment Procedures will be sent to successful applicants along with the Notice of Acceptance.

Failure to complete the Enrollment Procedures on the date above will be considered refusal to enroll.

## 10. Enrollment Fees and Tuition Fees

Enrollment Fee : 282,000 JPY

Tuition Fees (Annual) : 535,800 JPY (First Installment 267,900 JPY Second Installment 267,900 JPY)

- \* 1 The payment of Enrollment Fees is required. However, exceptions to Tuition Fee payment may be considered. For further information, contact the Support Group, Student Assistance Division at 097-554-7386.
- \* 2 **Students enrolled in the Research Doctoral Course in a Master's Course at Oita university as of March 2017, do not need to pay this enrollment Fee.**
- \* 3 When paying the First Installment of Tuition Fees, the Second Installment can also be paid.
- \* 4 State Sponsored International Exchange Students are not responsible for Enrollment Fee or Tuition Fee payments.
- \* 5 Enrollment Fee or Tuition Fees may be revised. If this occurs students will be required to pay the revised Fees.
- \* 6 Refunds of Enrollment Fees can not be made.

## 11. University Contact Information:

Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University  
700 Oaza-Dannoharu, Oita City, 870-1192

Please contact the following address by E-mail.

TEL 097-554-6701



# General Information on Application

## Admission Information

### 1. Goal of Education

The Doctoral Course at the Graduate School of Medicine of this university aims to use the latest academic teaching and research to nurture and educate researchers and medical professionals. This contributes to the welfare of the local and international communities and, the promotion of public health through human resources training.

### 2. Framework and Term of Study

The Medical Major consists of three related fields of study available to students. These are Basic Research, Clinical Research and Cancer Research. The standard term of study is four years.

### 3. Features

#### (1) Research Field Framework and Faculty Organization

Research will be available in the Faculty of Medicine and we will rid the traditional division between Basic Research and Clinical Research fields.

In doing this, broader perspectives are available for research activities throughout the Graduate School Course from communication between tutors and people including areas of natural science and social science.

Furthermore, the framework for the Cancer Research field will include cancer components of the other fields and will encourage students to be knowledgeable in the social requirements of the community.

#### (2) Multi-Tutor Approach

Due to the rapid changes in medical advancements, specialization, and segmentation, both the Basic Medicine and Clinical Medicine fields have tutors who teach across both fields. Students may need to have multi-tutors for a field in both lectures and research.

#### (3) Cancer Specialists (Cancer Specialist Nurse, Cancer Specialist Pharmacist)

This Doctoral Course is aimed firstly at those who strive to become Cancer Specialists even if they chose to study in the Basic Research Field or Clinical Research Field and the course will be conducted under the project named, Cancer Professional Training Plan. All students can be involved in this project. Lectures by surgeons and internal medicine physicians of all areas, nurses and pharmacists will be held.

#### 4. Courses and Faculty Member (As of May 2016)

##### [Fundamental Research Field]

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Psychological and Behavioral Science of Stress and Health	In this course, we multilaterally discuss and study the problems of stress and health in modern society from the standpoint of psychology, sociology and public health. We expect graduate students to learn psychosocial approaches to the problems of stress and health.	Tokumi Ueno
Histopathology	The aim of this course is to gain the knowledges and skills of diagnostic pathology as well as to discipline skills of presentation at clinicopathologic conference on autopsy cases.	Shigeo Yokoyama Tsutomu Daa
Analysis of genomic aberrations in cancer	Aim of this course is to study the molecular mechanisms of the onset and advancement of carcinomas by the genome wide analysis of cancer genome.	Masatsugu Moriyama Keiko Matsuura
Pathophysiology of Ionic Channels	Molecular function and pathophysiological regulation of ion channels would be targeted.	Katsushige Ono
Molecular Neuroscience	This class aims to understand the molecular mechanisms and neuronal pathways for investigating the novel physiological functions of biological substances in the central nervous systems.	Reiko Hanada
Molecular Biology of Cancer	The aim of the course is to understand the molecular and cellular mechanisms underlying cancer formation.	Fumihiko Hamada
Lymphology of Cancer	The aim of the course is to understand the mechanism of lymphatic metastasis and peritoneal dissemination of cancer.	Fumihiko Hamada Masahiro Miura
The molecular morphology	The analysis of gap junction formation bearing intercellular communication using an HAM 8 monoclonal antibody.	Yoshihisa Fujikura
Tissue morphofunctional studies	Elucidation of the mechanism by which fibrosis leading to functional failure develops and progresses in various organs by using the morphofunctional methods.	Keisuke Ina
Molecular Cell Biology	Analysis of the in vivo function of the RNA metabolism-related molecules using genetically modified animal.	Toshikatsu Hanada
Matrix Biology	The aim of this course is to introduce the function of molecules and gene expression in extracellular matrix.	Hidekatsu Yoshioka Tetsutaka Matsuo
Gene Technology (*)	We study a gene technology, the generation of transgenic mice and the pathobiology of many diseases.	
Molecular Pharmacology in Diabetic Medicine	We introduce the organon of the cell biology to search for a new target molecule for the anti-diabetic drug.	Toshimasa Ishizaki Toshihide Kimura
Advanced medical life science	The aims of this course are : 1) to study animal anatomy, 2) to practice animal experimentation, 3) to learn how to observe healthy /diseased cells and tissues under a microscope, 4) to learn methods in molecular biology such as DNA extraction.	Keiko Matsuura
Molecular and Cellular Immunology	To learn the molecular and cellular basis of protective immune responses against infection and inflammatory disorders caused by dysregulated immune responses.	Takashi Kobayashi
Arthropod-borne infectious diseases (*)	To learn diversity of transmission modes of infectious diseases transmitted by blood-feeding insects and acari and environmental factors, in particular global warming, influencing the modes of transmission.	

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Microbiology, Infection and Immunity	Research for host-parasite relationship in viral and bacterial infections and development of therapeutic- and preventive-strategy	Akira Nishizono
Microbial Molecular Biologics	Studying the current status and practical R&D of molecular targeting drugs against infectious diseases and cancers.	Hidekatsu Iha
Epidemiology of infectious diseases (*)	To study the mode of transmission of viruses through serological and molecular methods.	
Molecular Epidemiology of Gastrointestinal Diseases	We learn the mechanisms and epidemiology to develop gastric cancer as an infective disease using molecular techniques.	Yoshio Yamaoka
Public Health of Sleep	Sleep behavior are closely related to human health. Graduate students study the public health about sleep behavior in this program. They also study the method of epidemiological research.	Yoshitaka Kaneita
Clinical Epidemiology	To study for the structural analysis and solutions using the epidemiological approach to the problem encountered in clinical medicine. For the purpose of performing a clinical prediction on the individual patient, we examine the clinical parameters. Clinical epidemiology is to integrate methodology quantitative epidemiological study of clinicians' decision-making and human population, and one that forms the basis of evidence-based medicine (EBM).	Osamu Itani
Industrial Hygiene and Toxicology (*)	Is used in the industry spot; learn the revelation of the chemical substance, absorption distribution, metabolism, the change of the chemical substance by each process of the excretion to prevent the poisoning of the chemical substance in various way, and can practice practical poisoning precaution.	
Practical application of DNA polymorphisms	We apply nucleus DNA seasonal polymorphism and mitochondrial DNA seasonal polymorphism analysis to a paternity test and a personal identity and examine the utility and problems.	Tetsuko Kishida
Biophysical Chemistry	Structures, functions, and reactivities of biomolecules are physicochemically discussed.	Naoji Kubota Masato Tanigawa Megumi Shimoda
Microcirculation Science (*)	The morphology and function of arterioles, blood capillaries and venules are studied. In addition, organization and distribution of the lymphatic system are also discussed.	

### 【Clinical Research Field】

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Molecular Medicine of Endocrinology, Metabolism, Immunology and Nephrology	We investigate pathogenesis and pathophysiology of lifestyle-related diseases such as diabetes mellitus, hypertension, kidney diseases and autoimmune disease.	Hirotsugu Shibata
Evidence-Based Medicine for Clinical Practice including Diagnosis and Treatment in Respiratory Medicine and Infectious Diseases	The purpose of this category is to perform and establish the highly theoretical approach (evidence-based medicine) of diagnosis and therapy in respiratory medicine and infectious diseases through the basic and clinical research as well as to get the license of respiratory medicine- and infectious diseases-related specialist.	Junichi Kadota Masaru Ando



Subject	Details of Subject	Faculty Member
Clinical neuroscience and Dementia and Medical Sciences	We invite you to both basic and clinical medical sciences for neurological disorders or dementia such as molecular mechanisms underlying neuronal degeneration, and the development of biological markers or disease-modifying therapies.	Etsuro Matsubara
Strokology (*)	Experimental and clinical studies regarding stroke pathomechanism, the development of methods for diagnosis, treatment and prevention of stroke.	
Carcinogenesis and Infection in Digestive Diseases	Research of interaction between gastroenterological inflammation and carcinogenesis with molecularbiology.	Kazunari Murakami
Gastrointestinal endoscopy	Research of gastro-intestinal and billiary-panceatic disease using endoscopy.	Kazunari Murakami
Clinical Cardiology (From molecule to Bedside)	We aim to study the pathophysiology of cardiovascular diseases, and perform the translational researches from the viewpoint of the basic mechanisms of those diseases. In particular, we set targets on disclosing the pathophysiological mechanisms of the development of ischemia/reperfusion injury and accompanying heart failure as well as critical arrhythmias including atrial fibrillation and their treatments.	Naohiko Takahashi Mikiko Nakagawa Kunio Yufu Yasuyuki Teshima
Clinical diagnosis and therapy of cardiovascular surgery	We learn a surgical intervention method for heart problem/the artery disease and the adaptation and understand the merits and demerits to give the body of the surgery aggression.	Shinji Miyamoto Hirofumi Anai Tomoyuki Wada
Cerebral blood flow and metabolism and Neurotrauma	Pathophysiology and treatment of neurotrauma (ischemic and traumatic brain injury).	Minoru Fujiki
Bio-psycho-social Aspects of Functional Psychoses	We investigate functional psychoses such as depression and bipolar disorder from the viewpoints of pathophysiology, symptoms, course, prognosis and treatment.	Takeshi Terao
Science of brain and mind	We study psychiatry from molecular biology, a brain image, behavior medicine and social psychiatry.	Jotaro Akiyoshi
Developmental Medicine and Child Neurology	CNS ontogenesis and its related disorders: growth, mature and developmental disturbances	Tomoki Maeda
Clinical Genetics	To learn medical application of molecular biology and cytogenetics for the diagnosis, management, and prevention of genetic diseases in the field of perinatal medicine and pediatrics.	Kenji Ihara
Developmental Allergology	Through the elucidation of the age-dependent-outgrow in pediatric patients with allergy in terms of immunology, nutrition science, environmental medicine and genetics, the preventive and therapeutic strategy is discussed.	Seigo Korematsu
Ophthalmology pathophysiology and treatment	We assess the pathology of vision-threatening eye diseases by means of updated examinations. We also investigate the modality of treatment including operation on the eye diseases.	Kenichi Kimoto
Science of Visual Physiology	We evaluate the visual function by means of psychophysical and other objective examinations.	Toshiaki Kubota
Mucosal immunology in the respiratory tract	Mucosal immune system of upper respiratory tract particular reference to the ear and nose, and mucosal vaccine development for otitis media and sinusitis.	Masashi Suzuki Tetsuo Watanabe Takashi Hirano
Basic and Clinical Science of Wound Healing	We investigate the mechanisms and pathogenesis of wound healing and we learn how to make diagnosis and treat chronic ulcers. Through these processes, we train to make new ideas for investigations.	Yutaka Hatano Fumiaki Shimizu

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Molecular and Immune Pathology of the Skin	We discuss the latest research from a technical and a scientific point of view and review the pathogenesis of skin diseases based on histopathology and molecular biology. Through these processes, we learn the wide knowledge about the related diseases and the history of the research, and we train to get the critical ability.	Yutaka Hatano
oxidative stress after systemic inflammatory insults	Major insults such as surgery, multiple trauma or septic shock induces systemic inflammatory response. Neutrophils activated by this response release a large amount of reactive oxygen species which cause excess oxidative stress. Excess oxidative stress can lead to widespread endothelial cell injury and multiple organ failure which are associated with poor outcome. Consequently, it is the most important to establish the method to control not only inflammatory response but also oxidative stress in the perioperative management.	Shigekiyo Matsumoto
Acute inflammation and organ injury	Excessive inflammatory responses induced in major insults such as septic shock, multiple trauma and so on can induce massive and uncontrolled release of proinflammatory mediators and eventually lead to multiple organ injury. The aim of this course is to figure out the relationship between acute inflammatory mediators and multiple organ injury, and consequently develop new therapeutics.	Takaaki Kitano
Diagnostic Imaging of Orthopaedic surgery	You study how to read the orthopaedic images and get the point of the diagnosis using the orthopaedic images from clinical case.	Hiroshi Tsumura
Clinical Therapy of Orthopaedic surgery	You study how to plan the surgical orthopaedic procedure from clinical case.	Hiroshi Tsumura
Surgical Science of clinical diagnosis and therapy	Regarding gastrointestinal diseases, we have a conference on such as a preoperative diagnosis, selection of operative procedure, observation and diagnosis of resected specimen, and aim at developing scientific and clinical judgment, acquiring comprehensive clinical skills.	Masafumi Inomata Masayuki Ohta
Surgical Science of Molecular biology and oncology	From an intra-cellular signaling point of view, we learn the mechanisms for growth, invasion and progression of tumor, and study clinical applications to control of tumor.	Norio Shiraiishi Masayuki Ohta
Pathophysiology of Voidling Function	To learn the diagnosis and treatment for lower urinary tract dysfunction (LUTD) based on pathophysiological approaches.	Fuminori Sato
Reproductive and perinatal pathophysiology	The aim of this course is to learn pathophysiology in the field of reproductive and perinatal medicine.	Hisashi Narahara
Radiological Science of Diagnostic Imaging	To learn general radiological diagnosis, including CT, angiography, ultrasound, nuclear medicine and MRI with correlation of pathology, anatomy, gene abnormality, and clinical presentations.	Hiromu Mori Syunro Matsumoto Fumito Okada Yasunari Yamada
Science of Less Invasive Therapy	1 . To learn less invasive therapy such as radiation therapy and interventional radiology (IVR). 2 . To learn clinical oncology including gene polymorphism and methodology of development research for intravascular treatment.	Syunro Matsumoto Hiro Kiyosue
Critical Care Medicine	To learn the critical care of fatal emergency diseases and trauma based on the guidelines and standardized course of cardiopulmonary resuscitation, trauma and disaster medicine.	Osamu Shigemitsu

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Stroke and Emergency Neurology	We learn and research the most up-to-date diagnosis and therapy about the emergency disorder of central nervous system, especially stroke.	Keisuke Ishii
Scientific basis of clinical pharmacology and pharmacotherapeutics	Analysis for Pharmacotherapeutics is studied the Clinical Drug Evaluation and Clinical Pharmacogenetics based on the rational drug therapeutics.	Naoto Uemura
Clinical Pharmacology and Pharmacogenetics	We learn the method to study an internal change of the drug and can carry out drug therapy monitoring.	Hirimitsu Imai
Pharmaceutical Medicine and Communication (*)	Pharmaceutical medicine and communication is the subject to educate the staff working for drug development and fostering with high creativity and good communication skills, and with the mind of logic and ethics for clinical research.	
Therapeutics for Oral-maxillofacial Diseases (*)	Study the genes involved in the estimation of therapeutic effects of chemotherapy in metastatic cancer, cancer from precancerous lesions and its factors, oral mucous membrane cancer, craniofacial morphology and masticatory function, jaw-facial congenital malformations, diseases, development of cleft lip and cleft jaw, oral lesions and pathological physiology.	
Basic Science of Hard Tissue Diseases	The aims of this course are to study reconstruction of the maxilla and mandible, regeneration of bone and cartilage by inducing differentiation of bone marrow stem cells, and bone augmentation for the dental implant treatment.	Kenji Kawano
Proper use of drugs	The purpose of this category is to develop evidence-based applied pharmacotherapy.	Hiroki Ito
Practice-Based Research on Community and General Medicine	Practice-based research: Analysis of social, psychological and immunological factors which induce acute exacerbation of chronic diseases in community rural areas.	Eishi Miyazaki

### **【Cancer Research Field】**

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Development of Targeted Cancer Therapies	It is the aim of this course is to develop the human resources with both knowledge of clinical and basic research for cancer.	Kuniaki Shirao Masatsugu Moriyama
Diagnostic Pathology of Cancer	The aim of this course is to gain the knowledges and skills of diagnostic pathology for the neoplastic diseases, including morphology, immunohistochemistry and genetic analysis.	Shigeo Yokoyama Masatsugu Moriyama
Surgical Science and Thoracic Oncology	We learn pathogenesis and progressive mechanisms of the thoracic malignant tumors, and learn therapeutic strategy based on molecular findings and evidences which were obtained from translational research.	Kenji Sugio Michiyo Miyawaki
Endoscopic Surgery	We discuss the significance of a new technical development of endoscopic surgery with minimal invasiveness, from the point of view that how they affect systemic and local immunities, and also growth, invasion and progression of tumor.	Norio Shiraishi Masafumi Inomata

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Radiation Oncology	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . To understand standard radiation therapy for external irradiation to a wide variety of diseases.</li> <li>2 . To understand the indication, method, treatment effect and adverse effect for standard external irradiation, stereotactic radiotherapy, intensity-modulated radiotherapy (IMRT), and brachytherapy.</li> <li>3 . To learn clinical significance of radiation therapy in the area of cancer treatment.</li> </ol>	Hiromu Mori
Medical Oncology	The aims of this course are : 1 ) learning indication of chemotherapy for cancer, 2) learning supportive care, 3) learning methodology of response evaluation, 4) understanding pharmacology of anticancer agents, 5) understanding methodology of clinical research for cancer, 6) establishment of standard chemotherapy, and 7 ) development of novel anticancer agents (including molecular target agents).	Kuniaki Shirao
Palliative Medicine	We understand the mechanism of the cancer-pain and understand the theoretical backgrounds of the multidirectional care, such as scientific diagnostic methods, drug therapy and the nerve blocks, and learn the technical skills.	Kentaro Okuda
Clinical Management for Respiratory Malignancies	The purpose of this category is to perform and establish the highly theoretical approach (evidence-based medicine) of diagnosis and therapy in respiratory malignancies through the clinical research as well as to get the license of anticancerous chemotherapy specialist.	Junichi Kadota Masaru Ando
Diagnosis and treatment for the tumor of digestive organs	Research of recent progress of diagnosis and treatment for gastroenterological cancer, and possibility of QOL improvement of patients with carcinoma.	Kazunari Murakami
Diagnosis and therapy for genitourinary tumors	A diagnosis and the treatment that were based on a characteristic of a cell / the molecular biology of the kidney urinary passage sex rgans tumor.	Hiromitsu Mimata
Clinical diagnosis and treatment of gynecologic tumor	The aim of this course is to learn about the pathogenesis and pathophysiology of the gynecologic tumors.	Kaei Nasu
Diagnosis and therapy for disease of the breast	We examine the molecular mechanisms of pathogenesis and progression in breast cancer, and learn diagnostic and therapeutic strategy.	Kenji Sugio Michiyo Miyawaki
Clinical diagnosis and therapy for brain tumors	General diagnosis of brain tumors with morphological, functional and biological techniques.	Minoru Fujiki
Diagnosis and Managetment of the Skin Cancer	We understand the histopathological and molecular levels of cutaneous neoplasms and we learn how to make diagnosis and treat them.	Yutaka Hatano Naoko Takeo
Diagnosis and treatment of Bone-and Soft Tissue Tumor	About a bone and a tumor (a sarcoma in particular) breaking out in soft, We learn a diagnosis and treatment.	Hiroshi Tsumura
Diagnosis and Therapy for Head and Neck Tumors	In the head cervix, the internal organs with various functions are adjacent, and a symptom / the views by the tumor which broke out in this domain are characteristic each. We learn it from the internal organs of the head cervix about the control of a tumor breaking out and a clinical problem of the basics about the maintenance of function by this lecture.	Masashi Suzuki Kenji Kawano

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Principles and Practice of Pediatric Hematology and Oncology	The ontogenesis and its basic pathogenesis of pediatric hematological malignancies and solid tumors.	Soichi Suenobu
Community and Homecare Medicine in Oncology	The aim of this course is to acquire the knowledge and skills on clinical oncology, to improve the quality of oncological medical care in community hospitals in cooperation with specialists in other departments, and to acquire the abilities to provide homecare medicine for patients with advanced cancer.	Eishi Miyazaki
Therapeutics of Clinical Oncology	The aim of this course is to acquire a deep knowledge and high skills of clinical oncology including surgical treatments, radiation therapy, drug therapies and palliative care and to acquire abilities to provide safety medical oncological care.	Eishi Miyazaki

**[Common Courses for all fields - One must be selected]**

Subject	Details of Subject	Faculty Member
Practice & progress on research	<p>(Practical Seminar) Learn of the latest medical information from basic theory of common methodology and procedures in experiments, to the techniques necessary for research.</p> <p>(Graduate School Seminar) The lecture that concentrates on the expertise of Professors and Associate Professors, to expand the individual's research. These seminars are held throughout the school year and can suit Mature Age Students also.</p> <p>(Local Medical Practical) Mature age Students who are already involved in the local medical system can plan a Local Medical Practical. Along with the other seminars, participants can expand on their knowledge with practice in the local community.</p>	All Teachers
Medical English	<ol style="list-style-type: none"> <li>To acquire medical vocabulary.</li> <li>To improve basic reading and listening skills in English through medical news and articles.</li> </ol>	Shigeru Mori Harumi Osita
Medical English Conversation	<ol style="list-style-type: none"> <li>To acquire medical vocabulary.</li> <li>To improve English conversation skill through discussion of clinical topics and episodes.</li> </ol>	Shigeru Mori Chidlow Sean
Bioethics	This course will provide training of solving ethical problems in complicated clinical settings for health-care professionals through case examination.	Hirimitsu Imai
Biostatistics	In this subject, the following contents are introduced: (i) common types of biomedical studies; (ii) descriptive statistical methods; (iii) sampling distributions; (iv) parameter estimation and tests of hypotheses; (v) regression analysis and experimental designs; and mathematical epidemic models. Examples of practical data analyses are also provided.	Nobuoki Eshima
Medical Informatics	The purpose is to understand the integrated hospital information system of the university hospital, and to get the knowledge and the method to construct the research database from the electronic medical records.	Hidetoshi Miyake Akira Shimaoka

(\* ) In 2016, this course will not be offered as the In-charge tutor is unavailable.

## 5. Course Registration

- (1) The Doctoral Course at this university's Graduate School is four years. 30 credits must be attained to complete the Course.
- (2) The requirements for the 30 credits are as follows;
  - 1 course must be selected from the 4 common courses (each worth 5 credits).
  - 1 course must be selected from affiliated courses (each worth 5 credits).
  - 1 course must be selected from any fields (each worth 5 credits) These 3 total 15 credits.
  - Research Paper on topic decided as Research Proposal (worth 5 credits).
  - Doctoral Thesis (worth 10 credits) once it passes the examining committee.

## 6. Degree Conferral

- (1) Awarded the degree of Doctor (Medicine)
- (2) Degree will be awarded to those who complete at least four years studying at the Graduate School, complete at least 30 credits and complete and pass the Doctoral Thesis or the completion examination.
  - However, degrees may be awarded to graduate students who have completed over three years studying and have achieved outstanding research achievement.

## 7. Scholarships

The Japan Student Support Organization Scholarship and Loans supports monthly accommodation as follows.

1st Category Graduate School Scholarship (interest free)	Monthly Amount	80,000JPY or 122,000JPY
2nd Category Graduate School Scholarship (interest bearing)	Monthly Amount	50,000JPY, 80,000JPY, 100,000JPY, 130,000JPY or 150,000JPY (Select)

## 8. Oita University Admission Department/School Loan Information

The university will cover the interest accumulated on enrollment fee loans and tuition fee loans while students are enrolled at the university. This is for Japanese students only. For further details, please contact the Scholarship Support Group, Student Assistance Division at 097-554-7386.

## 9. Student Research Accident Insurance

This compensation insurance covers accidents causing injury and death etc., during the period a student is enrolled in the graduate school and is conducting research, experiments, laboratory training, and other official study time, travel to and from the school, during school events, during study activities off campus. The cost for 4 years of cover is 3,370JPY.

Information on application will be sent to students who are accepted to study at the university.

## 10. Information on Extension of Study Term

The Extension of Study Term is available when it was planned from the start of study that the degree will require longer time to be completed. People with difficult circumstances (domestic affairs, child rearing and care-givers etc.) may apply for the Extension of Study Term if necessary.

It is required that the Extension for Study Term application to be made at time of enrollment.

It is possible to shorten the time initially extended to if circumstances is changed during the course.

If the Extension of Study Term is granted, annual School Fees the following is an example of Annual School Fee.

How to apply for the Extension of Study Term will be explained on acceptance to study.

**【Example of Annual School Fees】** (Amount may vary depending on school year)

Regular Study Period ( 4 YRS) Yearly School Fee Amount 535, 800JPY

1 YR 535, 800JPY	2 YR 535, 800JPY	3 YR 535, 800JPY	4 YR 535, 800JPY
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

2, 143, 200JPY

Annual School Fees if at time of enrollment, an Extension of Study Term was granted and a study term of 8 years was decided. (AMOUNTS IN JPY)

1 YR 267, 900JPY	2 YR 267, 900JPY	3 YR 267, 900JPY	4 YR 267, 900JPY	5 YR 267, 900JPY	6 YR 267, 900JPY	7 YR 267, 900JPY	8 YR 267, 900JPY
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

$2, 143, 200\text{JPY} \div 8 \text{ YRS} = 267, 900\text{JPY}$ (ANNUAL SCHOOL FEES)

### 11. Contact Information of Faculty Member Including Professors (as of May2016)

Tutor	Extension No.	Fax No	E-mail	Remarks
Hirofumi Anai	5 1 4 5	0 9 7 - 5 8 6 - 5 1 4 6	anaiana	
Masaru Ando	5 8 0 1	0 9 7 - 5 4 9 - 4 2 4 5	mando	
Toshimasa Ishizaki	5 7 2 2	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 2 9	t-ishizaki	
Hiroki Ito	6 1 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 1 1 9	itoh	
Masafumi Inomata	5 8 4 1	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 3 9	Inomata	
Kenji Ihara	5 8 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 3 9	k-ihara	
Tokumi Ueno	5 6 0 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	ueno	
Naoto Uemura	5 9 5 0	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 4 4	uemura	
Katsushige Ono	5 6 5 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 4 6	ono	
Yoshitaka Kaneita	5 7 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 3 9	kaneita	
Kenji Kawano	6 7 0 0	0 9 7 - 5 4 9 - 2 8 3 8	kekawano	
Tetsuko Kishida	5 7 5 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 5 4	kishida	
Takaaki Kitano	5 9 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 9 4 9	tkitano	
Toshiaki Kubota	5 9 0 0	0 9 7 - 5 4 9 - 6 0 4 3	tkubota	
Takashi Kobayashi	5 7 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 0 2	takashik	
Osamu Shigemitsu	6 6 0 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 5 9 8	oshige	
Hiroataka Shibata	5 7 9 4	0 9 7 - 5 4 9 - 4 4 8 0	hiro-405	
Norio Shiraishi	6 1 4 8	0 9 7 - 5 8 6 - 6 3 0 7	norioh	
Kuniaki Shirao	5 7 3 4	0 9 7 - 5 8 6 - 6 2 7 6	kshirao	
Kenji Sugio	5 8 5 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 4 4 9	ksugio	
Masashi Suzuki	5 9 1 3	0 9 7 - 5 4 9 - 0 7 6 2	suzukim	
Naohiko Takahashi	6 0 3 8	0 9 7 - 5 8 6 - 6 2 8 9	takanao	
Masato Tanigawa	5 6 0 3	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	tanigawa	
Hiroshi Tsumura	5 8 7 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 4 7	htsumura	
Takeshi Terao	5 8 2 0	0 9 7 - 5 4 9 - 3 5 8 3	terao	
Mikiko Nakagawa	6 3 4 4		mikinak	
Hisahi Narahara	5 9 2 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 6 8 7	naraharh	
Akira Nishizono	5 7 1 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 1 9	a24zono	
Yutaka Hatano	5 8 8 1	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 8 9	hatano	



Tutor	Extension No.	Fax No	E-mail	Remarks
Tosikatsu Hanada	5 6 6 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 6 5	thanada	
Reiko Hanada	5 6 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 4 9	reiko-hanada	
Fumihiko Hamada	5 6 2 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 2 3	hamadaf 1	
Minoru Fujiki	5 8 6 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 6 9	fujiki	
Yoshihisa Fujikura	5 6 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 2 2 1	ham 8	
Keiko Matsuura	5 6 0 8	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 1 9	matsuura	
Etsuro Matsubara	5 8 1 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 5 0 2	etsuro	
Hiromitsu Mimata	5 8 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 8 9 9	mimata	
Hidetoshi Miyake	5 4 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 1 6 0	miyakeh	
Eishi Miyazaki	6 1 4 9	0 9 7 - 5 8 6 - 6 3 0 7	eishida	
Shinji Miyamoto	6 7 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 6 7 3 9	smyamot	
Kazunari Murakami	6 1 9 1	0 9 7 - 5 8 6 - 6 1 9 3	murakam	
Hiromu Mori	5 9 3 0	0 9 7 - 5 8 6 - 0 0 2 5	morihrmu	
Masatsugu Moriyama	5 6 9 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 9 9	mmoriyam	
Yoshio Yamaoka	5 7 4 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 7 4 9	yyamaoka	
Shigeo Yokoyama	5 6 8 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 8 6	yokoyama	
Hidekatsu Yoshioka	5 6 7 0	0 9 7 - 5 8 6 - 5 6 7 4	hidey	

(Remarks)

1. Persons intending on applying, should contact the tutor before sending application.
2. When calling in from outside the city, please first call area code 097 then the first part of the phone number 586 then the extension number above to speak directly to the tutor of your choice.
3. Email's should be sent to the above email name with @oita-u.ac.jp following it.

## Location Map of Oita University

### School of Medicine, Oita University (Hasama Campus) \*Examination Hall

Address : 1 - 1 Idaigaoka, Hasama-machi, Yufu-city

Tel : 097-586-5540, 5541

Access : ◎By bus(Oita Bus)

From Bus Stop 2 in front of the 'Tokiwa Department Store', at Oita Bus Co., take a bus to 'Daigaku Byoin'. From Bus Stop 4 in front of JR Oita Station Funai Chuo Exit (North exit) , take a bus to 'Daigaku Byoin'. It is about a 40-minute-ride.

### Entrance Examination Division, Student Support Dept., Oita University (Dannoharu Campus)

#### \*Admission Application

Address : 700 Oaza-dannoharu, Oita-city

Tel : 097-554-6701

Access : ◎By JR train(JR Hohi Line)

Get off at 'Oita Daigaku Mae'. It is a 12-minute-ride from Oita Station 5 -minute-walk from 'Oita Daigaku Mae' train station.

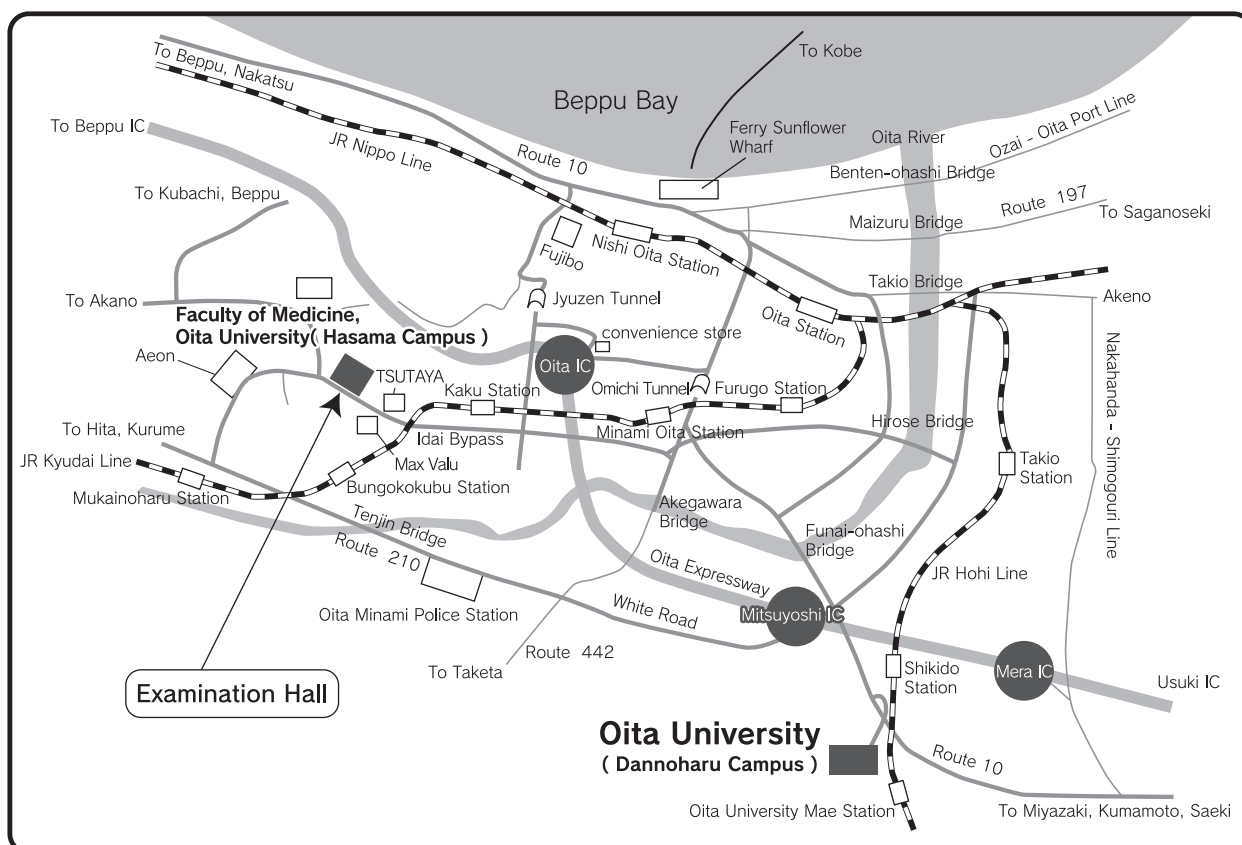
◎By bus(Oita Bus)

From Bus Stop 1 in front of the 'Tokiwa Department Store', at Oita BusCo., take a bus to;

○'Takae New Town/Dainan Danchi' or 'Oita Daigaku'. Get off at 'Oita Daigaku' or 'Oita Daigaku Seimon'. It is a 40-minute-ride.

○'Hetsugi, Usuki, Taketa, Saiki' and get off at 'Oita Daigaku Iriguchi'.

It is a 40-minute-ride. 10-minute-walk from bus stop.



**入学試験に関する問い合わせ先**

〒870-1192 おおいたし おおあざだんのはる 大分市大字巨野原700番地  
**大分大学学生支援部入試課**  
TEL 097-554-6701

**For all enquires regarding the Entrance Examination  
Entrance Examination Division, Student Affairs Department,  
Oita University  
700 Oaza-dannoharu, Oita City, 870-1192  
Tel 097-554-6701**

なお、この募集要項の内容はホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも掲載しています。  
The information herein is available on the homepage <http://www.oita-u.ac.jp/>